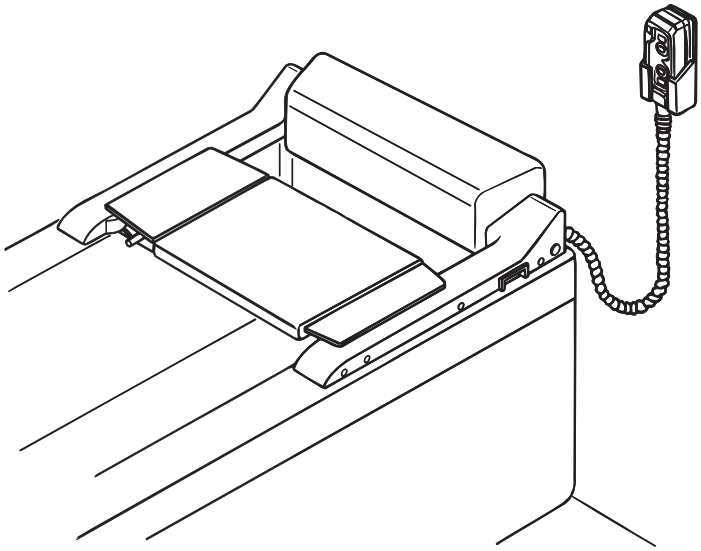
TOTO

取扱説明書 保証書付

バスリフト

品番	EWB100型/EWB103型



【使用上のご注意】

- 介助の方は必ず付き添ってください。（P.2参照ください）
- シートを取り付けない状態で操作しないでください。（P.8参照ください）

はじめに

商品説明……2
各部のなまえ……3
安全上のご注意……4
使用上のご注意……8

使いかた

使いかた……9
1.電池を充電します……9
2.電池を取り付けます……11
3.バスリフト本体にシートを取り付けます……12
4.操作前の点検を必ずします……14
5.バスリフトのシートに座ります…16
6.シートの下降・上昇をします……17
7.シートを取り外します……19
8.使用後は必ず電池を取り外します…20

お手入れ

点検・お手入れのしかた……21
電池と充電器について……24
バスリフトの幅の微調整方法について……28

こんなときは

故障かな？と思ったら……29
アフターサービス……38
補修用性能部品が必要な修理内容…39
製品仕様……42
保証書……43

商品説明

◆このたびは、バスリフトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
　この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
◆保証書に取付店名、取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。
◆この取扱説明書は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

●特長

介助の方が必ず付き添ってご使用いただく商品です。
介助の方がシートへの移乗および使用中の座位を正しく保持し快適にご利用ください。
浴槽への出入りの介助を補助するために、シートを上下させる電動式の入浴リフトです。
手元のリモコンスイッチを操作するとシートが昇降します。
※バスリフトは電池で動きます。必ず充電してご使用ください。

特長 1

既設の浴槽（在来、システムバス）に手を加えることなく、設置できます。

電源工事も不要です。

特長 2

自然なスピードでシートが上下し、浴槽内での立ち座りをサポートします。

特長 3

シートは最上位置では、洗い場側に近付き、浴槽への出入りをサポートします。

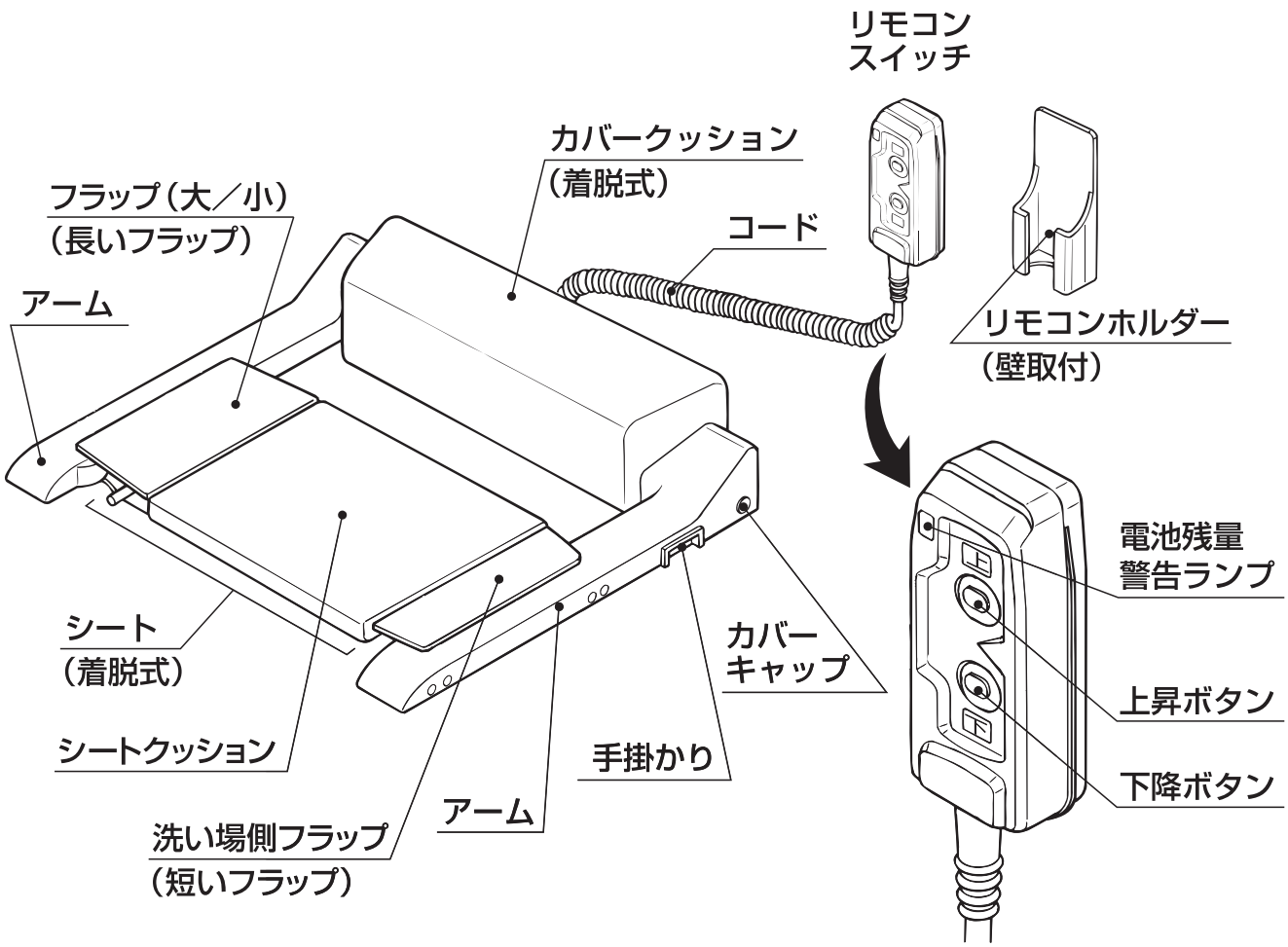
特長 4

リモコンスイッチなので手元で操作できます。

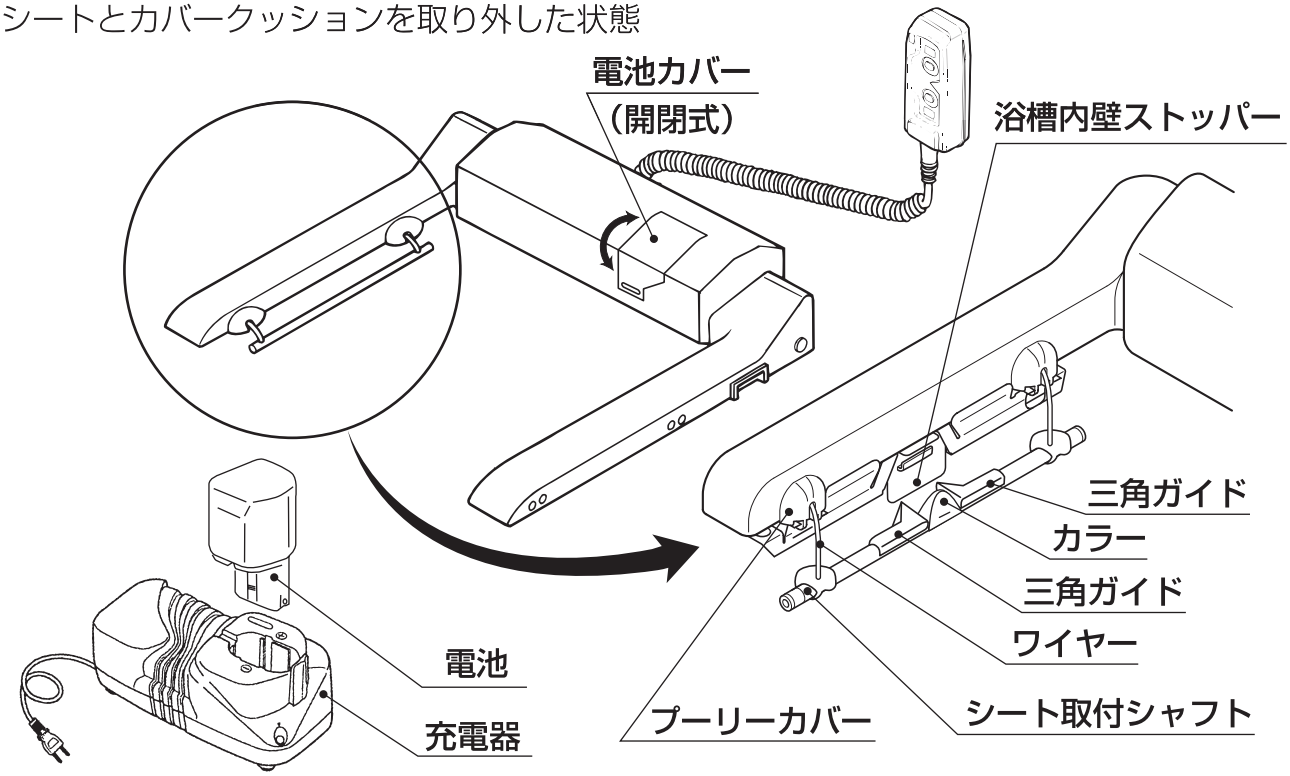
特長 5

シートは着脱式ですので、バスリフトをお使いにならない時にはシートを取り外して入浴して頂けます。

各部のなまえ



シートとカバークッションを取り外した状態



安全上のご注意

●安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　　味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、次のような意味があります。

表　示	意　　味	表　示	意　　味
	一般的な禁止		必ず行う

取扱説明書および本体の注意表示に沿ってお使いください。取り扱いを誤ると思わぬ事故や故障の原因となります。

⚠ 警告	
必ず実行	**一人での使用はできません。必ず介助者が付き添う** **介助者は、使用者の姿勢が前後左右に傾かないように動作状況を常に確認し、目を離さない** ●転倒してけがをしたり、姿勢をくずしておぼれたり、また故障時に浴槽から出られなくなる原因となります。
禁止	**座位の保てない方は使用しない** ●転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
必ず実行	**シートが確実に取り付けられていることを確認する** ●取り付けが不十分だとシートが落下し、おぼれたりけがをする原因になります。
必ず実行	**バスリフトのワイヤーは点検が必要な部品です** **毎回ワイヤーの点検を行い、異常が見られる場合は、新品のワイヤーに交換してから使用する** ●ワイヤーが劣化した状態でご使用になりますと、ご使用中にワイヤーが破断し、シートが落下し、おぼれたりけがをする原因になります。
必ず実行	**バスリフトは使用の浴槽に合わせて確実に幅調整を行い、ガタツキなくしっかりと固定する** ●使用中にバスリフトが動いたり転落し、おぼれたりけがをする原因になります。
必ず実行	**セーフティーバーが上下に動くことを確認する** ●セーフティーバーが作動しないとシートが上昇できずおぼれの原因になったり、シートとアームに手がはさまった時にシートが止まらずけがをする原因になります。
必ず実行	**使用前に電池の残量を確認する** ●電池残量が不十分な状態で使用すると上昇できずおぼれる原因になります。

⚠ 警告

禁止	**電源コード、差込プラグが破損するようなことはしない** ●傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
禁止	**ガタついているコンセントは使わない** ●火災や感電の原因になります。
禁止	**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない** ●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
禁止	**バスリフトを使用中は、ワイヤーやシートの角を握らない** ●けがをする原因になります。
禁止	**故障したままでバスリフトを使いつづけない** ●次のようなときは、使用を止めてください。 ・異音、異臭がしている　・製品にひびや割れが入っている ・製品が異常に熱い　・製品から煙がでている ●故障したまま使いつづけると、火災や感電の原因になります。
禁止	**充電器の収納時に、電源コードを充電器本体に巻きつけない** ●電源コードに負荷がかかり断線し、感電やショートによる火災などの原因になります。
禁止	**浴槽のリムやハンドグリップなどを握るなどして前傾姿勢での使用はしない** ●転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
禁止	**充電器で電池を充電するときは、指定する電源（交流100V）以外では使用しない** ●火災の原因になります。
禁止	**シート取付シャフトやシートに足をのせたり掛けたりしない** ●プラスチック部品の破損によりけがをする原因になります。 ●ワイヤーの切れや、機器が破損し作動不良によるけがやおぼれる原因になります。
禁止	**温泉水や入浴剤のかかる浴室には使用しない** ●腐食により破損し、けがをしたり、おぼれたりする原因になります。
水かけ禁止	**充電器、差込プラグ、電池に水やお湯をかけない** ●火災や感電の原因になります。
水場使用禁止	**電池の充電は浴室内や湿気の多い場所で行わない** ●火災や感電の原因になります。
禁止	**濡れた手で、差込プラグを抜き差ししない** ●感電の原因になります。
禁止	**電池が水滴などで濡れている状態では充電しない** ●火災や感電の原因になります。
分解禁止	**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造を行わない** ●火災、感電の原因になります。また、故障の原因になります。
禁止	**雷が発生しているときは、差込プラグに触れない** ●感電の原因になります。
禁止	**シートをつけない状態でリモコンスイッチを操作しない** ●故障の原因となり、昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。
禁止	**体重が35kg未満または100kg以上の方は使用しない** ●故障の原因となり、昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。

⚠ 警告	
必ず実行	**差込プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む** ●火災や感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
必ず実行	**差込プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く** ●コードを引張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
必ず実行	**シートを外した側はシート取付シャフトの上に仮置きし、シートが落下しないよう注意する** ●シートをシート取付シャフトから外してしまうと落下して思わぬけがをする原因になります。
必ず実行	**座る前にシートクッションが確実にクリップで固定されているか確認する** ●使用中にクッションが外れて転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
必ず実行	**シートを持つときは、シートが滑り出さないよう注意する** ●シートが滑り出し、ぶつけたり、シートを落としてけがの原因になります。
必ず実行	**子供のいたずらなどに注意する　また、使用しないときは電池を取り外す** ●頭や胸、手や指などをはさまれたり、おぼれたりけがをする原因になります。
必ず実行	**使用しない時や、お手入れの前には電池を取り外し、取り外した電池は浴室外の湿気のない場所に保管する** ●さびや性能劣化により昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。
必ず実行	**バスリフトの電池端子部は点検が必要な部品です** **必ず毎回点検を行い、汚れやさびは、きれいに取り除いてから使用する** ●電池は汚れやさびが付いた状態でご使用になりますと、昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。
必ず実行	**バスリフトの電池ホルダーは、点検が必要な部品です** **必ず毎回点検を行い汚れやさびはきれいに除去してから使用する** ●電池ホルダーは汚れやさびが付いた状態でご使用になりますと、昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。
必ず実行	**異常な高温になったときや、煙、異臭があったらすぐにコンセントを抜く** ●火災の原因になります。
必ず実行	**強い力や衝撃を与えない** ●本体がずれて落下し、転倒してけがをする原因になります。
必ず実行	**シートへの横移乗が困難な方は、移乗は必ず介助者が保持する** ●おぼれたり転倒してけがをする原因になります。
必ず実行	**取り外した後は、フラップを内側に折り曲げて保管しない** ●フラップのヒンジが切れたり、折りぐせがついて戻らなくなるおそれがあります。
プラグ抜き励行	**お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●感電の原因になります。
プラグ抜き励行	**充電器を使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●火災の原因になります。

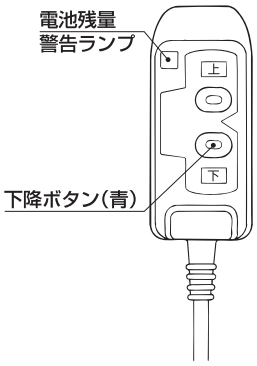
⚠ 注意	
禁止	**幅調整のねじを締めつけ過ぎない** ●浴槽を破損させる原因になります。
禁止	**シートの下に足を引き込んで使用しない** ●けがをする原因になります。
禁止	**バスリフト本体およびリモコンを水没させない** ●製品が故障し、昇降動作が停止し、おぼれの原因になります。
禁止	**お手入れするときは、水で薄めた中性洗剤を使用し、次のものは使わない** **「酸性」「アルカリ性」の表示のある洗剤、シンナー、ベンジンおよびクレンザー、たわし、ネット付スポンジなど** ●プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
禁止	**直射日光が当たらないようにする** ●プラスチックが劣化し、割れてけがをする原因になります。
禁止	**シートを長時間お湯につけたまま放置しない** ●フラップが劣化して、アームとフラップの間にすきまが生じ、移乗するときにけがをする原因になります。
禁止	**上昇時、下降時にカバークッションに体をもたれない** ●皮膚がこすれたり、カバーが外れけがをする原因になります。
禁止	**上昇中は体がプーリーカバーに触れないようにする** ●プーリーカバーとワイヤーのすき間に皮膚が挟まりけがの原因になります。
必ず実行	**バスリフトを持ち運ぶ場合は、足元や手、バスリフトの水気をふき取り、手掛かりを持って行う** ●誤ってバスリフトを落とすとけがをしたり、浴槽や浴室を破損したりする原因になります。
必ず実行	**バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴室壁面とバスリフトのアームの間や、バスリフトと浴槽の間に手や指を挟まないように注意する** ●けがをする原因になります。
必ず実行	**バスリフトを浴槽から取り外したときは、水平に静かに置く** ●立てかけたりすると、バスリフトが倒れたりして思わぬけがをしたり床などに傷が付いたりする原因になります。
必ず実行	**シート取付シャフトを押し込むときは、手を挟まないように注意する** ●けがをする原因になります。
必ず実行	**シートクッションの中央に座る** ●フラップとシートのすき間に皮膚がはさまれてけがをする原因になります。

使用上のご注意

◆ バスリフトは電池で動きます。必ず充電してご使用ください。

◆ リモコンのボタンを押していない時に電池残量警告ランプが点灯する場合は必ず充電する

電池残量が不足しているため、下降せず入浴ができないおそれがあります。



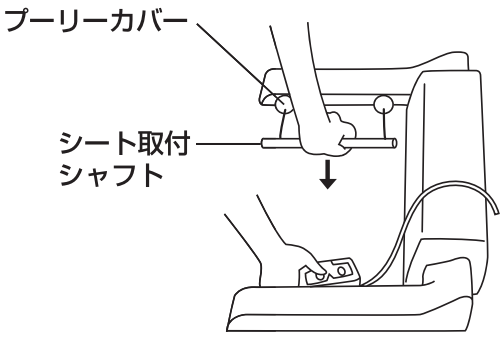
◆ シートを付けない状態でリモコンスイッチを操作しない

内部でワイヤーが巻き乱れを起こし、製品が動作しなくなる可能性があります。

警告	禁止	
		シートをつけない状態でリモコンスイッチを操作しない ●故障の原因となり、昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。

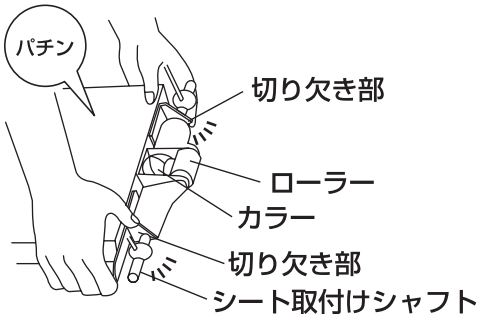
※ もしシートを付けない状態でワイヤーを一番上まで巻き上げてしまった場合や、リモコンスイッチの「下」ボタンを押してもワイヤーが繰り出されなくなった場合には、以下の手順にしたがって、シートを取り付けてください。

（1）リモコンスイッチの「上」ボタンを押し、左右のシート取付シャフトがプーリーカバーを押し上げ、止まるまでワイヤーを一番上まで巻き上げてください。
（製品内部でのワイヤーのたるみをなくし、たるみを検知するセンサーをリセットさせる方法です）



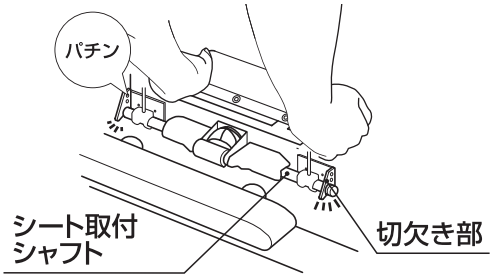
（2）左右のシート取付シャフトを両方同時に下に押しつけながら、リモコンスイッチの「下」ボタンを押し、最上点より10cm程度下げます。

▼フラップ（長いフラップ）側



（3）P.12～13の「3 バスリフト本体にシートを取り付けます」の手順にしたがってシートを取り付けます。

▼フラップ（短いフラップ）側

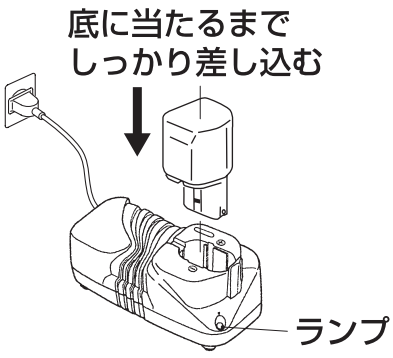


使いかた

1　電池を充電します（出荷時は充電されておりません）

①充電器の差込プラグを電源コンセントに差し込みます。

②電池を右の図に示す向き（電池のラベル面が電源コード側を向く向き）で、充電器の底に当たるまでしっかりと差し込みます。
逆向きに差し込むと充電しません。
電池を充電器に取り付けますと充電を開始し、充電ランプが赤く点灯します。



＜充電時間について＞
充電時間は約50分です。（気温20℃）
充電時間は、気温や電源電圧の事情により変動することがあります。
※新品時または長期間保管しておいた電池は、充電時間が長くなったり、充電容量が少ないことがあります。2～3回の充放電を繰り返すと正常な放電量に戻ります。

ご注意ください
- **指定の電池以外はご使用にならないでください。故障の原因となります。**
- **電池を充電器に取り付けても、充電ランプが点灯せず、充電開始状態にならないときは、いったん差込プラグをコンセントから抜き電池の差し込み具合を確かめてください。**

③充電が完了すると充電ランプが消えてお知らせします。充電が完了したら充電器の差込プラグを電源コンセントから抜き、充電器から電池を抜き取ってください。

ご注意ください
- **充電開始後4時間位たっても充電ランプが消えないときは、充電を中止してTOTOメンテナンス(株)へご連絡ください。**
- **電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など電池が多少熱をもっているときは、充電しないことがあります。**
  このようなときは、少し時間をおいて、電池が冷えてから充電してください。電池を長持ちさせるコツとしてリモコンスイッチの赤いランプが点灯したら電池を充電するようにしてください。
- **正しい充電をしても、電池の使用時間が著しく低下してきたときは、まず、電池のリフレッシュを行ってから再度充電してください。（リフレッシュのやり方についてはP.29参照）リフレッシュを行っても、電池の使用時間が著しく低下してきたときは、電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい電池をお買い求めください。**

⚠ 注意

必ず実行

一度充電が完了した後、次の充電まで15分程度休ませる

- 同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

電池が水滴などでぬれている場合は、乾いた布などで水気をふき取ってください。
電池の端子部に汚れや、さびが付着していないか確認してください。
汚れやさびは乾いたタオルでふき取ってください。

⚠ 警告

禁止

濡れた手で、差込プラグを抜き差ししない

- 感電の原因になります。

禁止

電池が水滴などで濡れている状態では充電しない

- 火災や感電の原因になります。

電池リサイクルのお願い

Ni-Cd

ニカド電池
リサイクルマーク

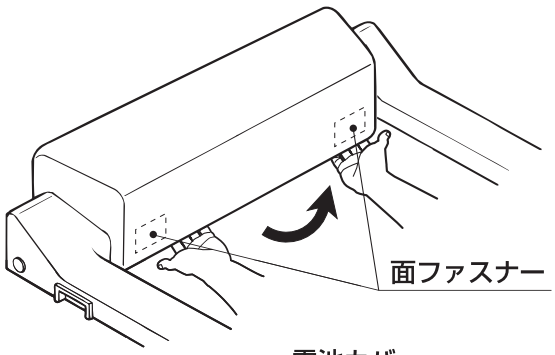
バスリフトに使用している電池（ニカド電池）はリサイクルできる貴重な資源です。ご使用済みの電池は、送料着払いにて、下記までご送付ください。

※お送りいただく際は、金属類や他の電池をまぜないでください。

TOTOメンテナンス㈱TOTOパーツセンター
〒802-8601
福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1　TEL 0120-8282-55

2　電池を取り付けます

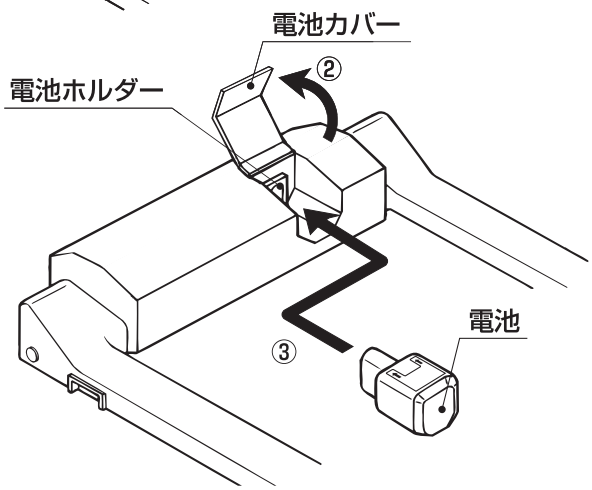
①カバークッションを取り外します。
　カバークッションは面ファスナーで固定されています。
　面ファスナーで固定されている部分を手前に引いて固定を外します。
　カバークッションを少し手前に広げながら上に持ち上げて取り外します。



②電池カバーを開けます。

③電池の向きに注意して電池を電池ホルダーに差し込み、電池カバーを閉じます。

電池は必ず充電されたものをご使用ください。

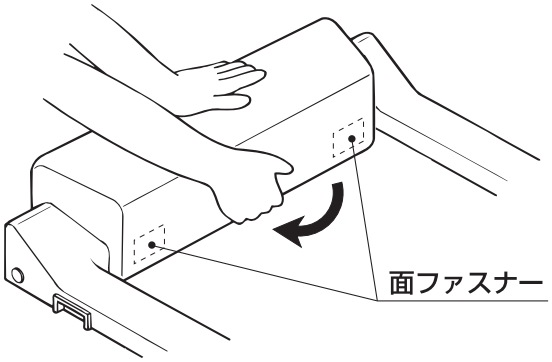


ポイント

充電された電池なのに作動しない時は、電池が最後まで押し込まれているか確認してください。

　電池が水滴などでぬれている場合は、乾いた布などで水気をふき取ってください。
　電池やバスリフトの故障の原因になります。
　電池の端子部に汚れや、さびが付着していないか確認してください。
　汚れやさびは乾いたタオルでふき取ってください。

④カバークッションを取り付けます。
　①と逆の要領でカバークッションを取り付け、面ファスナーでしっかり固定します。

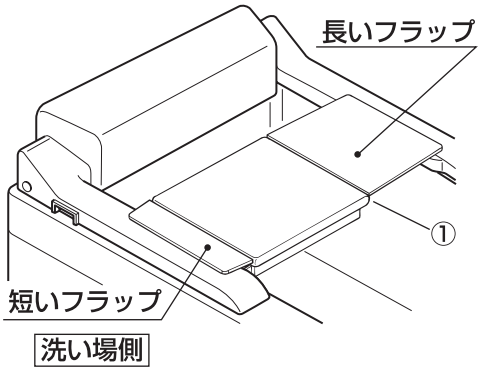


ポイント

カバークッションをかぶせてから、面ファスナーが貼られている部分を上から押して、面ファスナー同士がしっかりとくっつくように固定してください。

3　バスリフト本体にシートを取り付けます

①シートは、短いフラップが洗い場側を向くようにしてください。



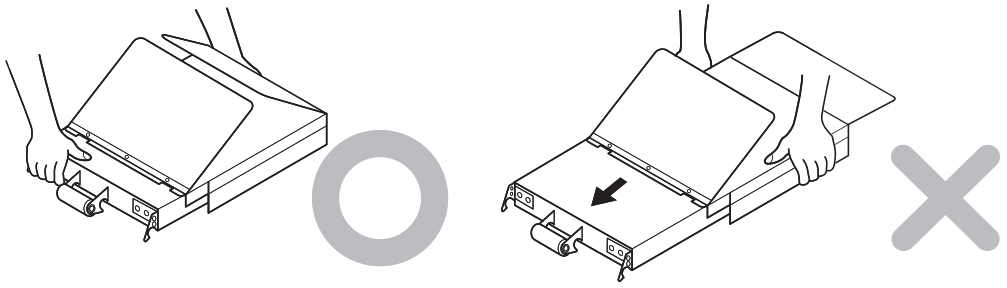
⚠ 警告

禁止

シートを持つときは、シートが滑り出さないよう注意する

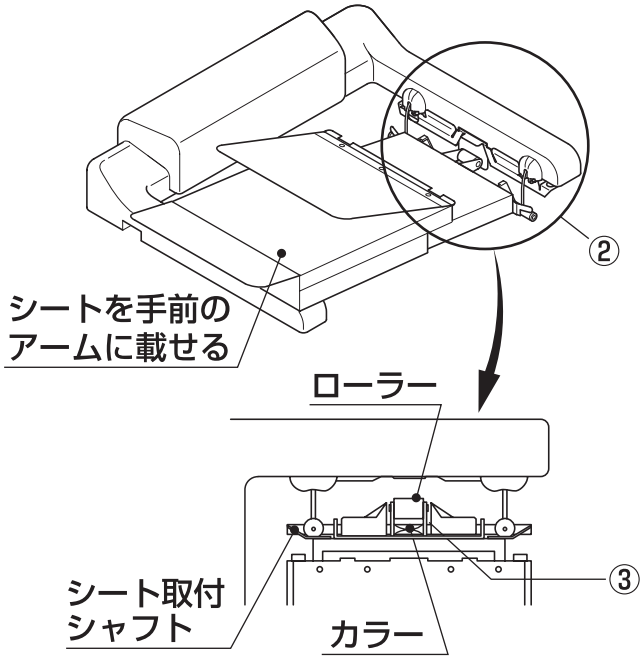
●シートが滑り出し、ぶつけたり、シートを落としてけがの原因になります。

シートの持ち方



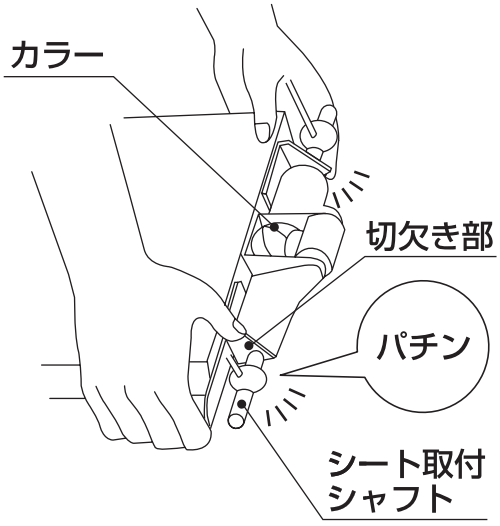
②右図のようにフラップを跳ね上げ、取り付け位置を確認しながら作業してください。
この時シートを手前のアームの上に仮置きすると作業しやすいです。

③右図のようにシートの「ローラー」の間に、シート取付シャフトの「カラー」がくるように位置を合わせます。



ポイント

この時人差し指でシート取付シャフトを呼び込むと簡単に位置合わせできます。



④「シート取付シャフト」とシートの「切欠き部」の位置を合わせます。

⑤シートの「切欠き部」を「シート取付シャフト」へ「パチン」と音がするまで押し込みます。

※「シート取付シャフト」が「切欠き部」の奥まで確実に入っていることを確認してください。

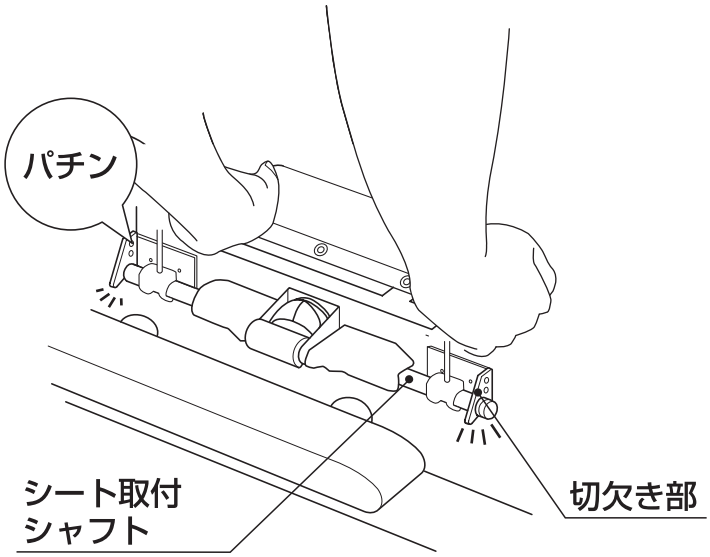
注意 **必ず実行**

シート取付シャフトへ押し込むときは、手を挟まないように注意する

●けがの原因になります。

⑥反対側も同じ要領で行ってください。
シートの「切欠き部」を「シート取付シャフト」へ「パチン」と音がするまでに押し込みます。

※「シート取付シャフト」が「切欠き部」の奥まで確実に入っていることを確認してください。



ポイント

シャフトに取り付け後、シートを少し持ち上げて確実に取り付けているか切欠き部を目視で確認する。

警告 **必ず実行**

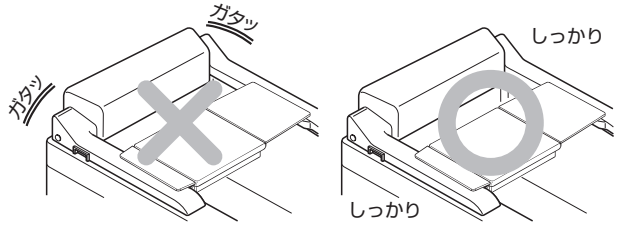
シートが確実に取り付けられていることを確認する

●取り付けが不十分だとシートが落下し、おぼれたりけがの原因になります。

4　操作前の点検を必ずします

バスリフトをご使用になる前に、必ず4つの点検をしてください。

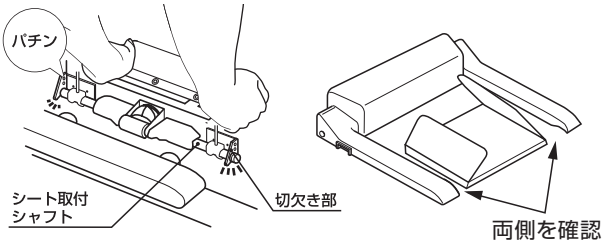
1 バスリフトはガタツキなくしっかりと固定されていますか?



ガタツキがある場合は、P28　「バスリフトの幅の微調整方法について」に従い幅調整してください

2 シートは確実に取り付いていますか?

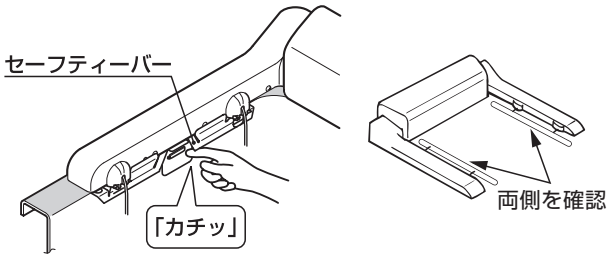
(シートの両側を必ず確認してください)



P12に従いシートを確実に取り付けてください

3 セーフティーバーは上下に動きますか?

(両側のセーフティバーを指で軽く押し上げて「カチッ」と音がすることを確認してください。)



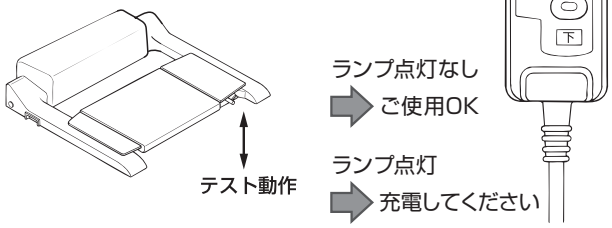
「カチッ」と音がしない場合は、P28「バスリフトの幅の微調整方法について」に従い幅調整してください

4 電池残量は十分ですか?

テスト動作を行い、リモコンの電池残量警告ランプの点灯がないか確認してください。

テスト動作

①シートを取り付ける。
②シートを5㎝程下降させる。
③シートを最上位置まで上昇させる。

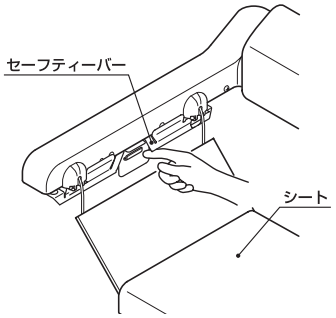


⚠ 警告

必ず実行	**バスリフトは使用の浴槽に合わせて確実に幅調整を行い、ガタツキなくしっかりと固定する** ●使用中にバスリフトが動いたり転落し、おぼれたりけがをする原因になります。
必ず実行	**シートが確実に取り付けられていることを確認する** ●取り付けが不十分だとシートが落下し、おぼれたりけがの原因になります。
必ず実行	**セーフティーバーが上下に動くことを確認する** ●セーフティーバーが作動しないとシートが上昇できずおぼれの原因になったり、シートとアームに手がはさまった時にシートが止まらずけがをする原因になります。
必ず実行	**使用前に電池の残量を確認する** ●電池残量が不十分な状態で使用すると上昇できずおぼれる原因になります。

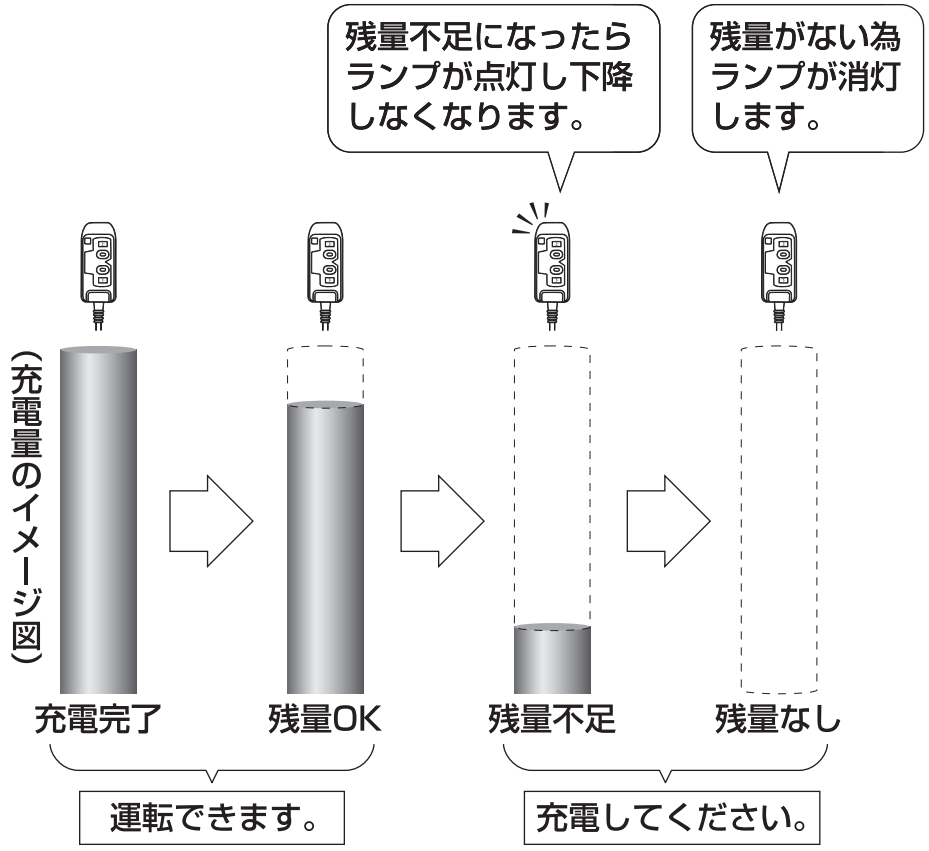
セーフティーバーのはたらき

セーフティーバーが上に押されることで上昇を停止させます。
これはシートとアームに手が挟まるなどの危険なとき、上昇を停止させる機構です。



電池残量のポイント

バスリフトはリモコンスイッチの電池残量警告ランプが点灯中は下降しません。
これは万が一シートが下降した後で、電池残量が不十分となりシートが上昇できなくなるのを防ぐためです。



シートが上昇中に、電池残量警告ランプが点灯または点滅し、ボタンを放すと消灯することがあります。これは通電時の一時的な電圧降下によるもので電池残量の不足ではありません。
「ボタンを押していない時」に電池残量警告ランプが点灯する場合は、充電してください。

ポイント

1回の充電で昇降できる回数が減ってきたら。

・P.37の「充電してもすぐ電池が切れる」をご確認ください。

5　バスリフトのシートに座ります

①シートクッション部の中央に座ってください。

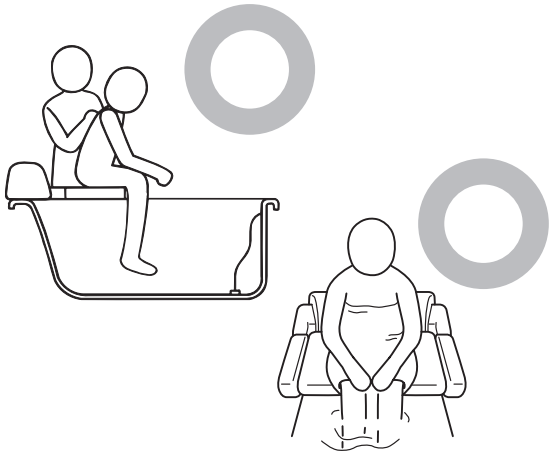
②上半身が傾かないように座ってください。

介助の方は、姿勢が傾かないように背中をささえるなどして保持してください。

※フラップと本体とのすき間に肉を挟まないように注意してください。

ポイント

バスリフトは、4本のワイヤーのたるみを検知しています。
下降時に姿勢が傾いたりして4本のワイヤーへの荷重が不均一になってワイヤーがたるむと、下降停止します。
①シートの中央にお座りください。
②上半身が傾かないようにお座りください。

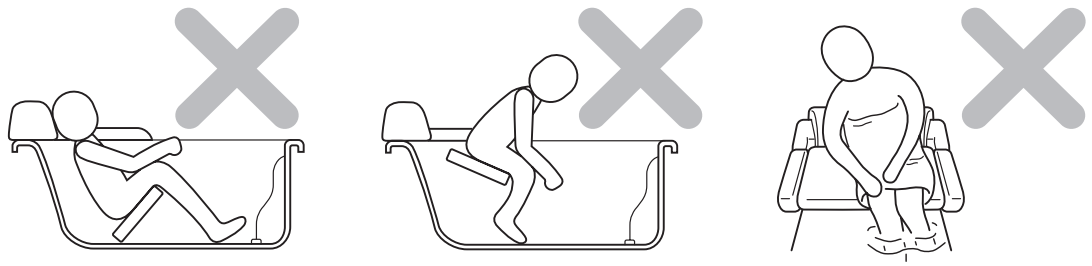


⚠ 警告

禁止	**座位の保てない方は使用しない** ●転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
必ず実行	**座る前にシートクッションが確実にクリップで固定されているか確認する** ●使用中にクッションが外れて転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
禁止	**浴槽のリムやハンドグリップなどを握るなどして前傾姿勢での使用はしない** ●転倒してけがをしたり、おぼれたりする原因になります。
必ず実行	**一人での使用はできません** **必ず介助者が付き添う** **介助者は、使用者の姿勢が前後左右に傾かないように動作状況を常に確認し、目を離さない** ●転倒してけがをしたり、姿勢をくずしておぼれたり、また故障時に浴槽から出られなくなる原因となります。

⚠ 注意

必ず実行	**フラップとアームにすきまがある場合は、移乗するときに介助者が上から押さえてすきまをなくして使用する** ●すきまがあるとけがの原因になります。
必ず実行	**シートクッションの中央に座る** ●フラップとシートのすき間に皮膚がはさまれてけがをする原因になります。

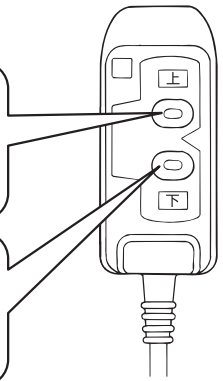


6　シートの下降・上昇をします

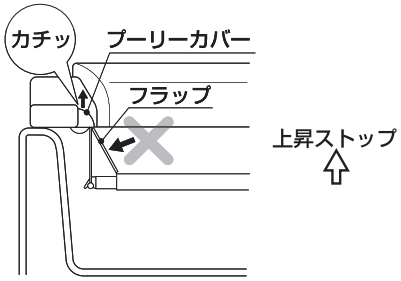
シートの上昇・下降は、リモコンスイッチで操作します。
次のリモコンボタンの説明にしたがってシートを昇降させてください。

赤いボタン…シートが上がります。
・ボタンを押している間、シートは上がり続け、ボタンを放せば、その位置でシートは止まります。
・シートが最上位置（アームと座面が同じ高さ）まで上がると自動停止します。

青いボタン…シートが下がります。
・ボタンを押している間、シートは下がり続け、ボタンを放せば、その位置でシートは止まります。
・シートが浴槽底面まで下がると自動停止します。

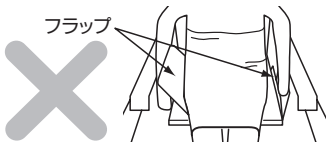


フラップを押し、プーリーカバーを押し上げないでください。
上昇中フラップを押し付けると上昇停止します。



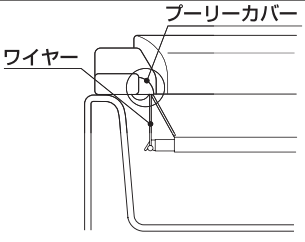
⚠ 警告

必ず実行	**一人での使用はできません。必ず介助者が付き添う** **介助者は、使用者の姿勢が前後左右に傾かないように動作状況を常に確認し、目を離さない** ●転倒してけがをしたり、姿勢をくずしておぼれたり、また故障時に浴槽から出られなくなる原因となります。
禁止	**バスリフトを使用中は、ワイヤーやシートの角を握らない** ●けがをする原因になります。
禁止	**上昇時はフラップの外側に手、指を出さない** ●シートと本体の間に手、指がはさまれてけがをする原因になります。



⚠ 注意

禁止	**上昇中は体がプーリーカバーに触れないようにする** ●プーリーカバーとワイヤーのすき間に皮膚が挟まりけがの原因になります。



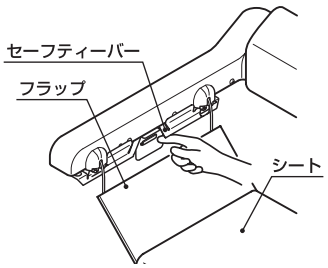
使いかた

ポイント

以下の場合、バスリフトの動作が停止します。

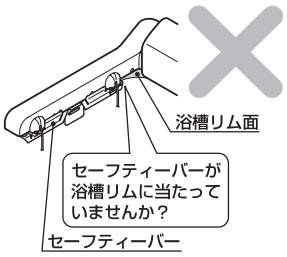
①セーフティーバーやプーリーカバーとフラップの間に手や指が挟まったとき。

シート上昇中にセーフティーバーやプーリーカバーとフラップの間に手や指が挟まると、危険回避のため、上昇が停止します。



②セーフティーバーが浴槽に当たっているとき。

バスリフトの設置位置が悪くセーフティーバーが浴槽に当たっているとバスリフトは動作しません。

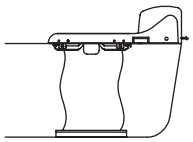


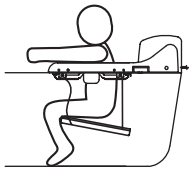
③ワイヤーがたるんでいるとき。

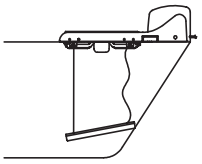
バスリフトはワイヤーのたるみを検知すると動作を停止します。

ワイヤーがたるむのは以下のような場合が考えられます。

- シートが下降して浴槽の一番底についたとき。
（これは正常な使用での停止です。）
- シートが下降中、シートと浴槽の間に体（特に足）が挟まったとき。
- シートが浴槽に当たって傾き、4本のワイヤーのうちどれかがたるんでいるとき。







重要

バスリフトは4本のワイヤーのうち1本でもたるむと動作を停止します。これはシートと浴槽の間に体が挟まったり、シートが傾いたまま使用されることを防ぐためです。（シートが下降して浴槽の一番底についたときも停止しますが、これは正常な使用での停止です。）
ところが、座っている姿勢が悪く、1本でもワイヤーがたるんでいると、危険な状態で使用されていると判断し動作を停止します。
このような誤使用を防ぐため、姿勢が傾いたりした場合は介助の方が姿勢を直し4本のワイヤーに等しく体重が加わるようにしてから使用してください。

7　シートを取り外します

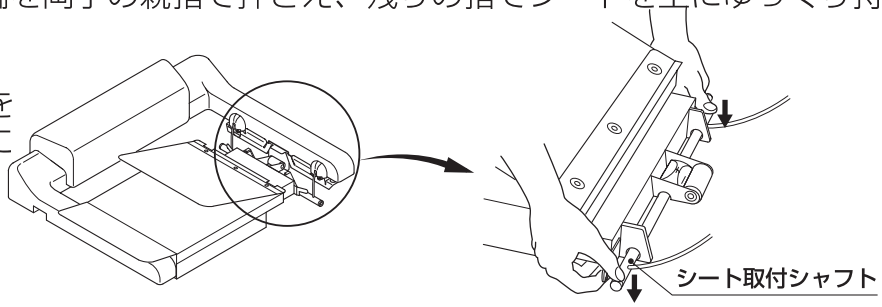
①下図のようにフラップを跳ね上げ、取り付け部を確認しながら作業してください。

ポイント1

シートを10cm程度下げて取り外してください。

②シート取付シャフトの両端を両手の親指で押さえ、残りの指でシートを上にゆっくり持ち上げてください。

持ち上げたあとはシートをシート取付シャフトの上に仮置きしてください。



ポイント2

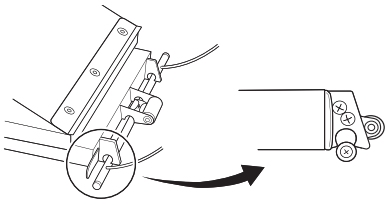
必ずシート取付シャフトを押さえてください。
無理に持ち上げるとワイヤーが曲ったりワイヤーの被覆（白いコーティング部）がはがれてしまいます。

⚠ 警告

必ず実行

シートを外した側はシート取付けシャフトの上に仮置きし、シートが落下しないよう注意する

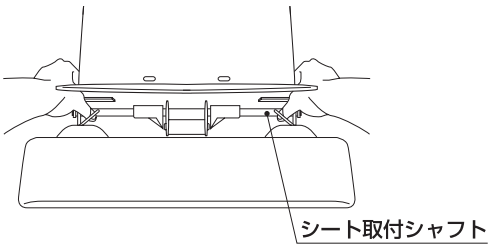
- シートをシート取付けシャフトから外してしまうと落下して思わぬけがをする原因になります。



③反対側も同じ要領で取り外します。

ポイント3

シートはフラップだけを持ったりしないでください。
ハトメクリップが外れるおそれがあります。



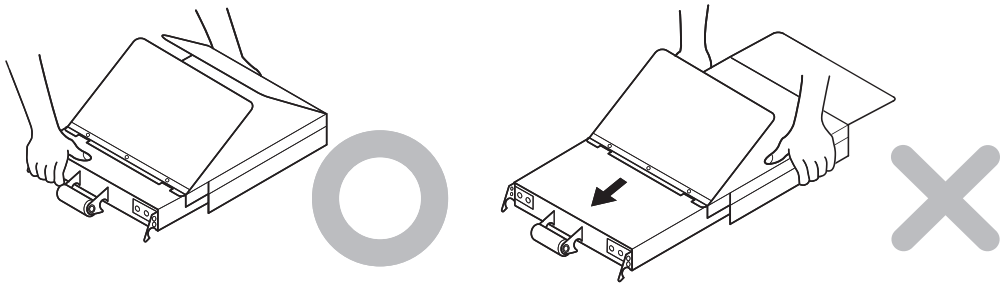
⚠ 警告

禁止

シートを持つときは、シートが滑り出さないよう注意する

- シートが滑り出し、ぶつけたり、シートを落としてけがの原因になります。

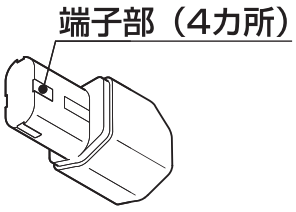
シートの持ち方



8　使用後は必ず電池を取り外します

⚠警告	必ず実行	**使用しない時や、お手入れの前には電池を取り外し、取り外した電池は浴室外の湿気のない場所に保管する** ●さびたり、寿命が短くなったりします。また昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。

使用後は、必ず電池を取り外し付着した水滴、汚れなどをふき取り、浴室外の湿気のない日のあたらない場所に保管してください。
特に電池の端子部は、ていねいにふき取ってください。
P.11「使いかた」の「2 電池を取り付けます」の手順にならって電池を取り外してください。



⚠警告

禁止	**電池が水滴などで濡れている状態では充電しない** ●火災や感電の原因になります。

ポイント

・バスリフトは電池を入れたままにしておくと電池が消費されます。シートを昇降しなくても電池残量不足となってしまいます。
・電池をバスリフトに取り付けたままにしたり、浴室などの湿気の多い場所に放置すると端子部がさびやすくなります。また電池寿命が短くなり、放電量が多くなり使用できる回数が減少します。

点検・お手入れのしかた

1　バスリフト本体のお手入れ（必要に応じてゴム手袋をご使用ください）

⚠警告	必ず実行	**使用しないときや、お手入れの前には電池を取り外し、取り外した電池は浴室外の湿気のない場所に保管する** ●さびたり、寿命が短くなったりします。また昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。

バスリフト本体のクッションカバーを取り外した状態ではバスリフトに水や洗剤をかけないでください。
故障の原因となります。

リモコンスイッチは、激しく水のかかる場所に放置しないでください。
故障の原因となります。

汚れは、かたく絞った布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。

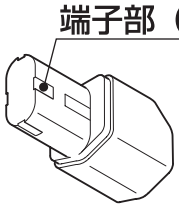
「酸性」・「アルカリ性」の表示のある洗剤やシンナー、ベンジン、クレンザー、およびたわしやネット付きスポンジなどは製品表面を傷付けますので、絶対に使用しないでください。

また、60˚C以上のお湯をかけますと、樹脂部品が変形するおそれがあります。お湯をかける場合はぬるま湯にしてください。

⚠注意	必ず実行	**バスリフトを浴槽から取り外したときは、水平に静かに置く** ●立てかけたりすると、バスリフトが倒れたりして思わぬけがをしたり床などに傷が付く原因になります。

2　電池、充電器のお手入れ

ご使用が済んだら、電池を取り外し付着した水滴、汚れなどをふき取り、浴室外の湿気のない場所に保管してください。
特に電池の端子部に汚れやさびがある場合はきれいに取り除いてください。



ポイント

電池を取り付けたままにしたり、浴室などの湿気の多い場所に放置すると、さびや劣化により、電池寿命が短くなります。また、放電量が多くなり、使用できる回数が減少します。
電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除いてください。

定期的な点検

商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。
経年劣化による重大事故を防止し、商品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますようお願い致します。
不具合があった場合は、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）へご連絡ください。

点検部位等（図を参照）		劣化チェック項目	兆候有無	経年劣化に伴い予想される具体的事象（危害情報等）	点検頻度
ワイヤー	①	被覆（白いコーティング部）が裂けて芯材のステンレスが露出している	有・無	使用中にワイヤーが破断。 シート落下によるけが。	毎回
	①	被覆（白いコーティング部）の表面に亀裂が発生している	有・無		
	①	さびが発生している （ワイヤー芯材にはステンレスを使用しておりますが、水質によっては、まれにサビが発生する場合があります。	有・無		
	＜追記＞点検に際して ・点検の前にリモコンスイッチを操作してバスリフトのシートを浴槽底面まで下降させた後、シートを取り外します。 ・点検が完了しましたらシートを取り付け、リモコンスイッチを操作してシートを最上位置まで上昇させてください。				
電池	②	水滴や汚れが付着している	有・無	昇降動作が停止し浴槽から出られなくなる。	毎回
	②	端子部にさびが発生している	有・無		
	※付着している水滴・汚れ・さびは乾いたタオル等でふき取ってください。				
電池ホルダー	③	内部の端子部に水滴や汚れが付着している	有・無	昇降動作が停止し浴槽から出られなくなる。	毎回
	③	内部の端子部にさびが発生している	有・無		
	※付着している水滴・汚れ・さびは乾いたタオル等でふき取ってください。				
シート	④	フラップを内側に折り曲げて保管している （折りぐせがついてしまっている）	有・無	部品の破損。けが。	保管時
	⑤	ワイヤーシャフト掛けが、変形・破損している	有・無	シートが正しくセットできず外れる。 シート落下によるけが。	毎回 （特にシートを誤って落下させてしまった時）
	⑥	フック部が変形している	有・無		
シートピン及びシートクリップ	⑦	シートピン及びシートクリップが外れかけている	有・無	使用中にシートが外れる。 シート落下によるけが。	1週間に1回程度

⚠ 警告

必ず実行

バスリフトのワイヤーは点検が必要な部品です。必ず定期的（1週間に1回程度）にワイヤーの点検を行い、異常が見られる場合は、新品のワイヤーに交換してから使用する
●ワイヤーが劣化した状態でご使用になりますと、ご使用中にワイヤーが破断し、シートが落下する原因になります。

※ワイヤーの交換はTOTOメンテナンス（株）にて有償で行います。（連絡先は裏表紙を参照ください）

⚠ 警告

必ず実行

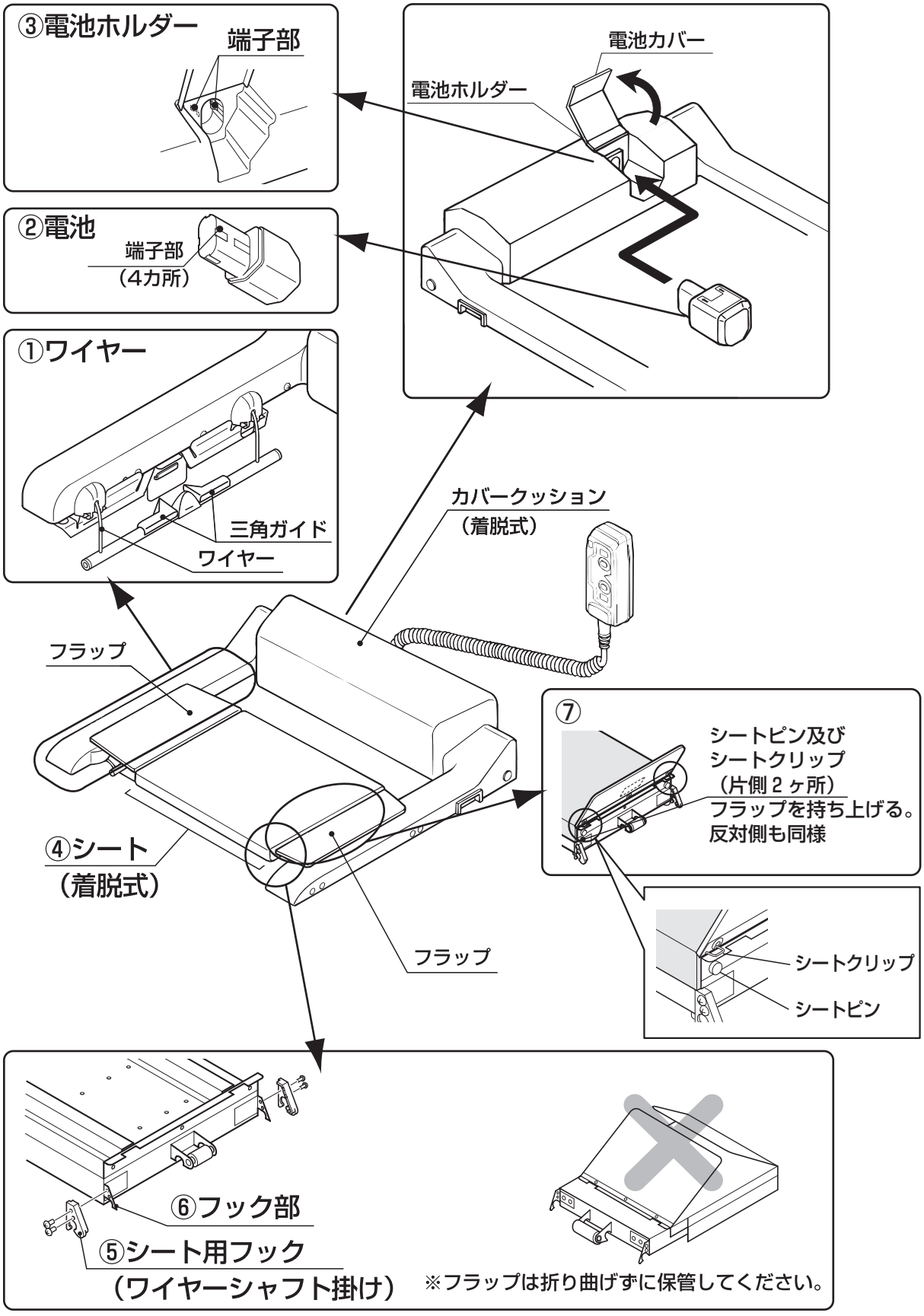
バスリフトの電子端子部は点検が必要な部品です。必ず毎回点検を行い、汚れやさびは、きれいに取り除いてから使用する
●電池は汚れやさびが付いた状態でご使用になりますと、昇降動作が停止し、おぼれる原因になります。

⚠ 警告

必ず実行

取り外した後は、フラップを内側に折り曲げて保管しない
●フラップのヒンジが切れたり、折りぐせがついて戻らなくなるおそれがあります。

＜解説図＞

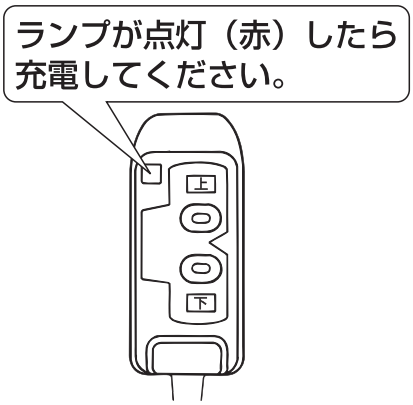

③電池ホルダー
端子部
電池カバー
電池ホルダー
②電池
端子部
（4カ所）
①ワイヤー
三角ガイド
ワイヤー
カバークッション
（着脱式）
フラップ
⑦
シートピン及び
シートクリップ
（片側２ヶ所）
フラップを持ち上げる。
反対側も同様
④シート
（着脱式）
フラップ
シートクリップ
シートピン
⑥フック部
⑤シート用フック
（ワイヤーシャフト掛け）
※フラップは折り曲げずに保管してください。

電池と充電器について

1　バスリフトと電池の関係

バスリフトは、電池の力で昇降動作を行います。
電池の容量が不足したら作動しませんので電池の容量を確認してからご使用ください。

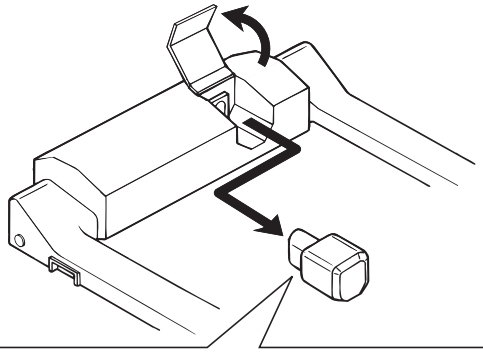
電池容量の確認方法はリモコンスイッチの「電池残量警告ランプ」で確認できます。
ランプが点灯（赤）していると残量不足です。充電してからご使用ください。
（P.9をご確認ください。）
また、長期間ご使用にならないと電池残量警告ランプは消灯します。



2　作動（昇降）回数について

①電池の消耗について。
バスリフトは、電池を取り付けた時点から、昇降させなくても電池が消費されます。
電池をバスリフトに入れたままにしておくとシートを昇降させなくても電池残量不足となってしまいます。

②１回の充電と昇降回数について。
充電後の昇降回数は１日１往復として約10日間ご使用できます。これは、ご使用者の体重や電池の使用期間により変わりますので、目安としてください。



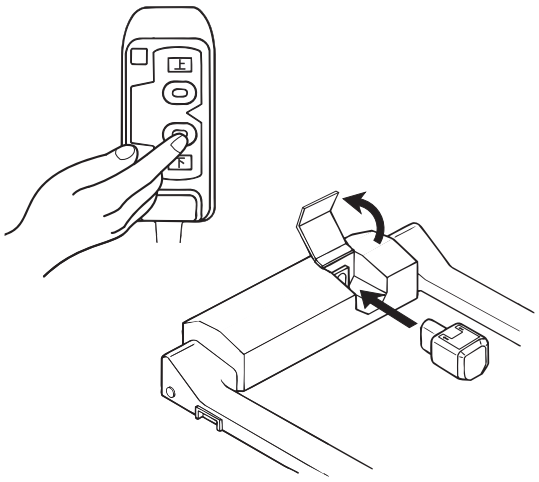
**ご使用後は電池を取り外してください。
取り付けた状態でも電池は消費され端子部分がさびやすくなります。**

③電池の性能回復について。
電池は、ひんぱんに充放電を繰返すと充電可能な容量が低下します。一回の充電で昇降回数が減ったと感じたときは、電池をリフレッシュしてください。
リフレッシュの方法は、P.25をご参照ください。

3　充電してもすぐに電池の警告ランプがつくときは

電池が完全に空になる前に充電を何度も繰り返すと、電池の充電容量が低下し、正しく充電してもフル充電にならない場合があります。（メモリー効果）
この場合、以下の手順で**電池のリフレッシュ**という作業を行います。電池のリフレッシュを行っても正しく充電できない場合は、電池の寿命が考えられますので、新しい電池に交換してください。

①リモコンスイッチの下降ボタンを押しながら、電池を電池ホルダーに差し込みます。
このとき、電池がホルダーの奥に当たるまでしっかりと差し込んでください。

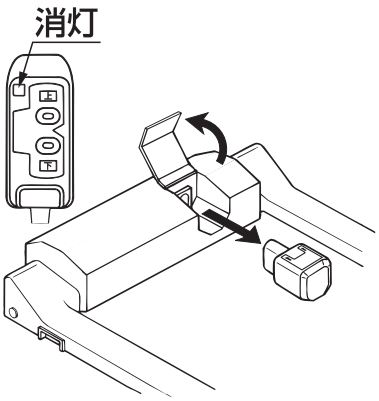


②リモコンの電池残量警告ランプが点滅します。これでリフレッシュ開始です。

点滅・・・■■■■

ポイント
電池のリフレッシュ中は、リモコンスイッチの操作をしても昇降しません。

③リフレッシュには約13～15時間必要です。電池残量警告ランプが消灯したら電池を抜いてください。
リフレッシュ後は必ず充電してください。



4　電池、充電器に関するQ&A

Q1：使用後も電池をバスリフトに取り付けたままにして置いてもいいですか？

A：使用後、電池は取り外してください。取り付けたままにしておくと、電池の寿命が短くなり、さらに放電量が多くなるので昇降できる回数も減少します。また、外すことでいたずら防止にもなります。

Q2：充電（電池切れ）の目安を教えてください。

A：リモコンスイッチのボタンを押していない時に電池残量警告ランプが点灯していたら、充電してください。電池残量が0になると点灯しませんので、ご注意ください。

Q3：感電はしませんか？

A：電池式（DC12V）のため、感電はありません。

Q4：電池の予備は購入できますか？

A：TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターで販売しております。
（電話番号および受付時間は裏表紙を参照してください）
TOTOの品番はEW79006です。ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。

- 電池は日立工機電動工具販売店でも販売しております。日立工機株式会社での品番はEB12Bです。
  0120-20-8822にお問合せください。
  ※携帯電話からはご利用になれません。
  受付時間：土・日・祝日を除く　9：00～17：00

Q5：充電器は購入できますか？

A：TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターで販売しております。
（電話番号および受付時間は裏表紙を参照してください）
TOTOの品番はEW79007です。ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。

Q6：電池の寿命は？

A：電池の寿命は、充放電の回数で決まります。
充放電の回数が増えると昇降回数は低下していきます。
ただ、電池寿命を知る簡便な方法はございませんので目安としてリフレッシュ後の充電で3～4往復以下になったら寿命と判断してください。早めの交換をお勧めします。
〈補足〉
はじめのうちは1回の充電で約10日間（1日1往復）のご使用が可能です。ただし、体重や電池の使用条件や保管条件により異なります。

Q7：電池のリフレッシュは何故必要ですか？

A：電池容量に対して少ない使用量で充放電を定期的に繰り返すと出力容量が低下します（メモリー効果）。この現象を正常に戻すため、リフレッシュを行います。

Q8：リフレッシュは定期的に行うものですか？

A：定期的に行うものではありません。使用回数（昇降回数）が低下する現象が発生したときのみ行ってください。
（正常状態でリフレッシュを行っても電池を痛めることはありません。）

Q9：充電器から煙が発生したのですが？

A：すぐに充電器のコンセントをぬいてください。
TOTOメンテナンス（株）修理受付センターへ連絡してください。
連絡先は裏表紙を参照ください。

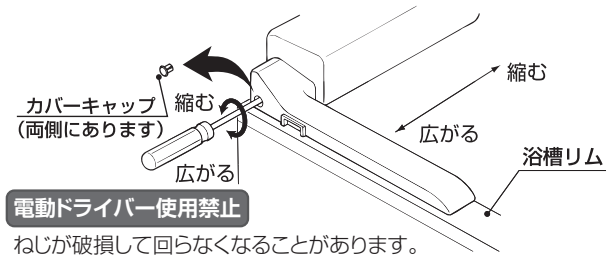
バスリフトの幅の微調整方法について

1　バスリフトの幅の微調整方法

ガタツキがある場合は、幅を調整しなおし、浴槽にガタツキなくしっかりと取り付けてください。

幅調整方法

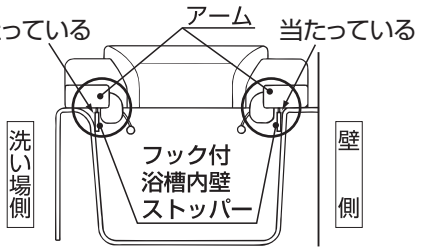
バスリフト本体の幅調整穴（洗い場側）に+ドライバーを差し込み、回し、本体（アーム）の幅を調整します。
洗い場側、壁側のフック付浴槽内壁ストッパーが浴槽内壁に当たるようにアームの幅を調整します。（図①）
※壁側のリム幅が狭く浴槽内壁ストッパーが浴槽に当たらない場合は、アームを壁に当ててください。（図②）



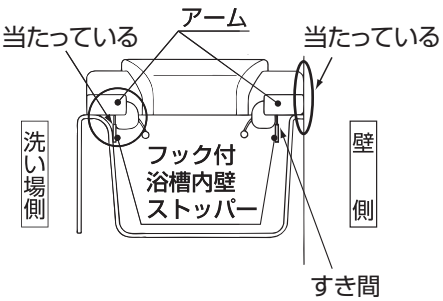
ねじが破損して回らなくなることがあります。

注意　**禁止**　**幅調整のねじを締めつけ過ぎない**
●浴槽を破損するおそれがあります。

図①

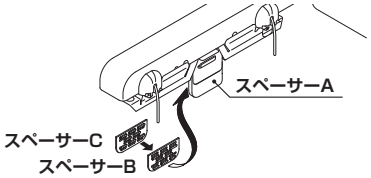


図②



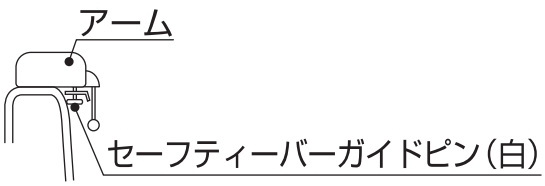
ポイント

スペーサーが外れていないか注意してください



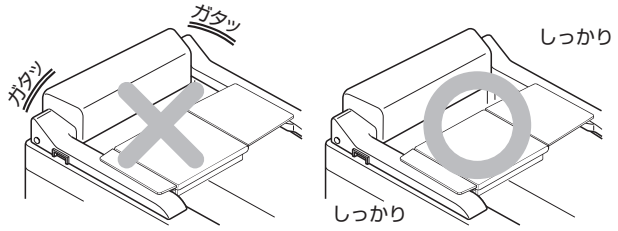
ポイント

セーフティバーガイドピンが浴槽に当たったら、それ以上アームを広げないでください。
バスリフト本体を前にずらし、浴槽内壁ストッパーが浴槽内壁に当たるよう調整してください。

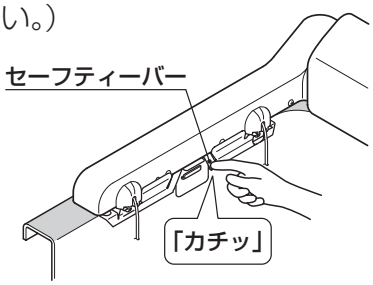


幅調整後の確認項目

□ガタツキなくしっかりと固定されていますか？

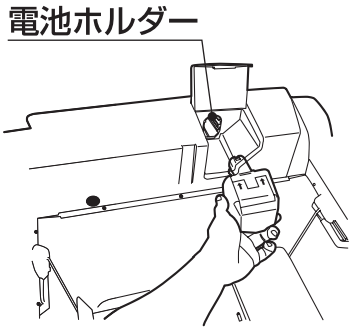
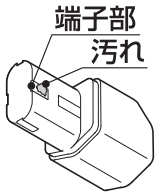
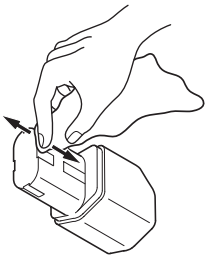
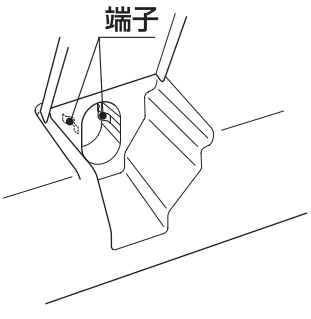


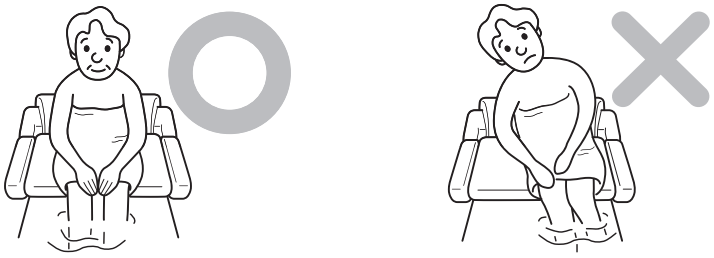
□セーフティーバーは上下に動きますか？
（セーフティーバーを指で軽く押し上げ「カチッ」と音がすることを確認してください。）

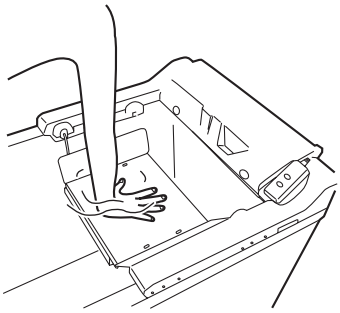
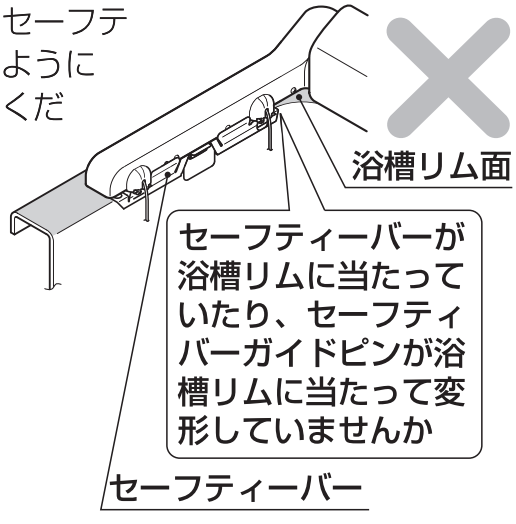
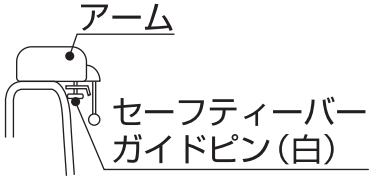
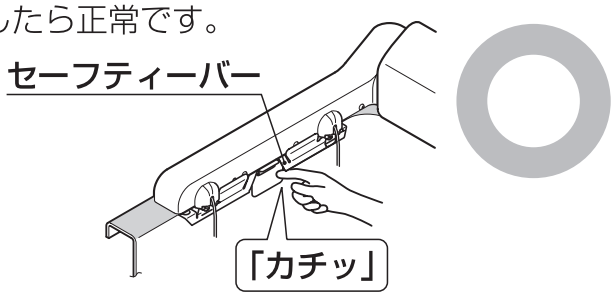


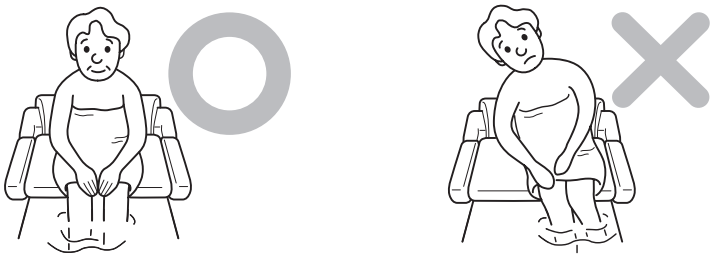
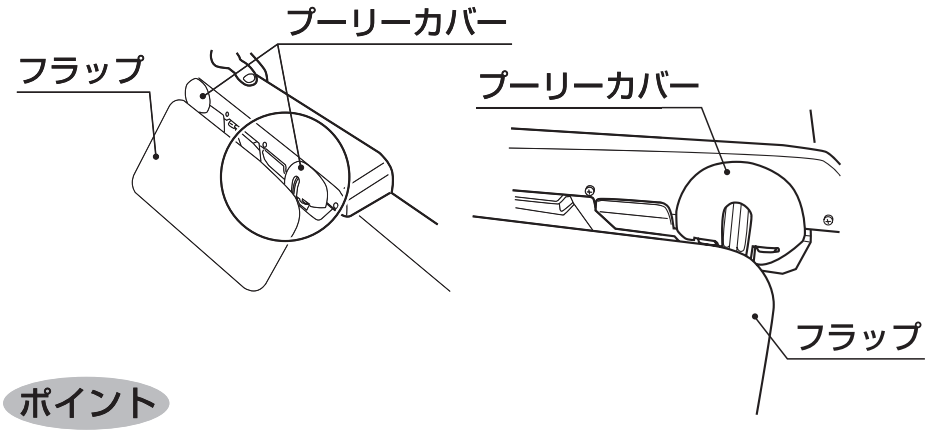
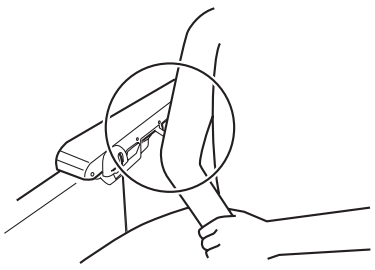
故障かな?と思ったら

「バスリフトが動かない！？」など故障かな？と思うことがありましたら、修理を依頼される前に、このページをよくお読みください。
それでもなお異常がある場合は、TOTOメンテナンス(株)へご連絡ください。

現象や症状	点検（確認）するところ
リモコンスイッチのボタンを押してもシートが上昇・下降しない。	電池は充電されていますか？ P.9「使いかた」の「1　電池を充電します」を参照し、電池を充電してから使用してください。
	電池は正しくセットされていますか？ 以下の項目を確認してください。 ・電池の上下方向が間違っていませんか？↑が描かれているラベルを上に向けて電池ホルダーの奥に当たるまで押し込んでください。 （右図が電池の正しい向きです） ・電池は電池ホルダーの奥まで入っていますか？電池の向きに注意して奥に当たるまで押し込んでください。 
	電池や電池ホルダーの端子部に水滴や汚れ・さびがありませんか？ 電池や電池ホルダーの端子部に水滴や汚れ・さびが付いていると正しい充電ができません。また、汚れやさびの抵抗でバスリフトに十分な電圧が供給できません。 ・端子部の水滴や汚れやさびは乾いたタオルできれいに取り除いてください。 ・さびがひどい場合は、TOTOメンテナンス(株)へご連絡ください。（有料）   

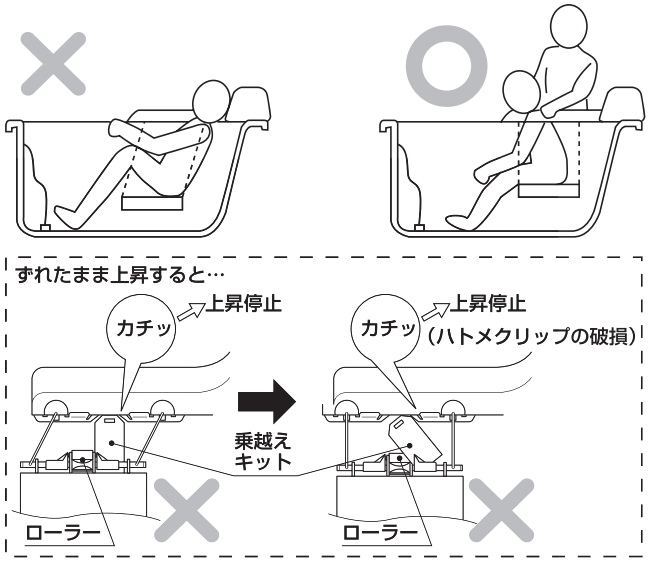
	リモコンスイッチの電池残量警告ランプ（赤ランプ）が点滅していませんか？ リフレッシュモードになっています。 電池のリフレッシュについてはP.25を参照ください。 リモコンスイッチの「下」ボタンを押しながら電池を電池ホルダーにセットすると、ランプが点滅を始め、電池のリフレッシュモードになり、動作しなくなります。 リフレッシュモードを解除する場合は、一度電池を電池ホルダーから取り外して再度セットしてください。 **ポイント** リフレッシュモードは電池残量をいったんゼロにする作業です。従ってリフレッシュ後は再度充電しないとバスリフトは使用できません。
現象や症状	**点検（確認）するところ**
シートは上昇するが、下降しない	シートの中央に正しい姿勢で座っていますか？ バスリフトは、4本のワイヤーに均等に荷重が加わっていないと下降しません。 シートの中央に体重がかかるように座ってください。  **ポイント** 姿勢が傾いたりした場合は、介助者が、使用者の方の姿勢を直し、ワイヤー4本に均等に体重が掛かるようにしてください。
	シートを取り付けないでリモコンスイッチを操作していませんか？ シートを付けない状態でリモコンスイッチを操作すると製品内部でワイヤーが巻き乱れを起こし、製品が動作しなくなる可能性があります。 もし、シートを取り付けないでワイヤーを一番上まで巻き上げてしまった場合は、P.12～13の記載に従いシートを取り付けてからリモコンスイッチを操作するようにしてください。

	シートに荷重が加わっていますか？ 水中では、浮力の影響でシートに荷重が加わらない場合があります。 シートに確実に荷重が加わるようにしてから操作してください。 
現象や症状	**点検（確認）するところ**
シートは下降するが、上昇しない	セーフティーバーやセーフティーバーガイドピンが浴槽のどこかに当っていませんか？ セーフティーバーが浴槽内壁に当たると上昇を停止します。 また、セーフティーバーガイドピンが浴槽にあたり変形してしまうと、セーフティーバーを上に押し上げ停止の状態になります。 別冊の施工説明書を参照しセーフティーバーが浴槽に当らないようにバスリフトを設置し直してください。   **ポイント** セーフティーバーを指で軽く押し上げて「カチッ」と音がしたら正常です。 

現象や症状	点検（確認）するところ
上昇途中で止まってしまう	フラップがプーリーカバーに引っ掛かっていませんか？ フラップを横に押し広げて使用すると、フラップがプーリーカバーに引っ掛かかり、動作を停止する場合があります。 フラップに力が加わらないよう、座っているときの姿勢に注意してください。   **ポイント** 使用者の姿勢が傾いたりした場合は、介助の方が、フラップに力が加わらないよう、座っているときの姿勢を保持し、ワイヤー4本に均等に体重が掛かるようにしてください。
	使用者の体がセーフティーバーに接触していませんか？ 上昇中に使用者の体がセーフティバーに接触し、セーフティーバーを押し上げることが原因です。上昇中はセーフティーバーに触れないよう、座っているときの姿勢に注意してください。 

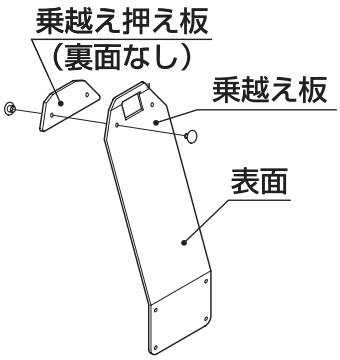
アームレスト乗越えキットにシートの横のローラーが引っ掛かっていませんか？

下図左のようにシートが前後方向にずれた状態のまま上昇すると、シートの横のローラーが乗越えキットからはみ出すため、引っ掛かって停止する場合があります。くり返し発生する場合は、下図右のようにシートを上昇させる前に、必ずご使用者の上体を起こす（カバークッションから離す）ようにしてみてください。



アームレスト乗越えキット（別売品）のクリップ交換

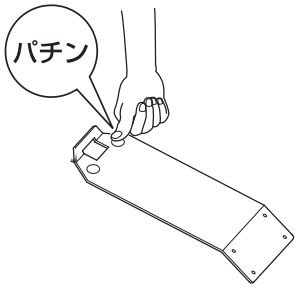
ローラーが乗越え板からはみ出した状態で使用していると、乗越え押さえ板を取り付けているハトメクリップが破損することがあります。ハトメクリップは一度外れると固定力が低下し、再利用できませんので、以下の手順で新品と交換してください。

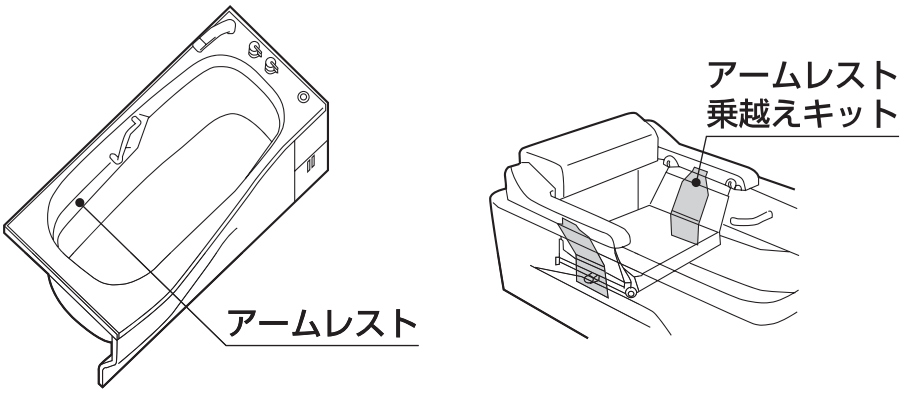
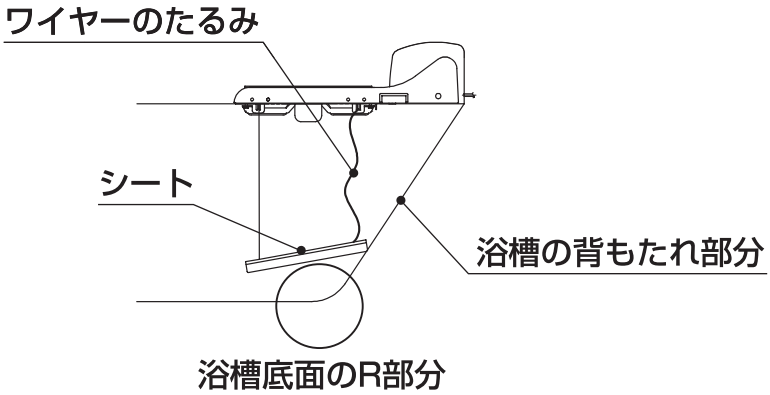


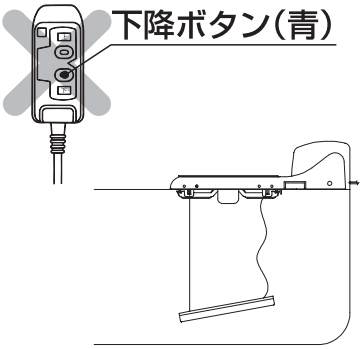
ハトメクリップ（A・B）

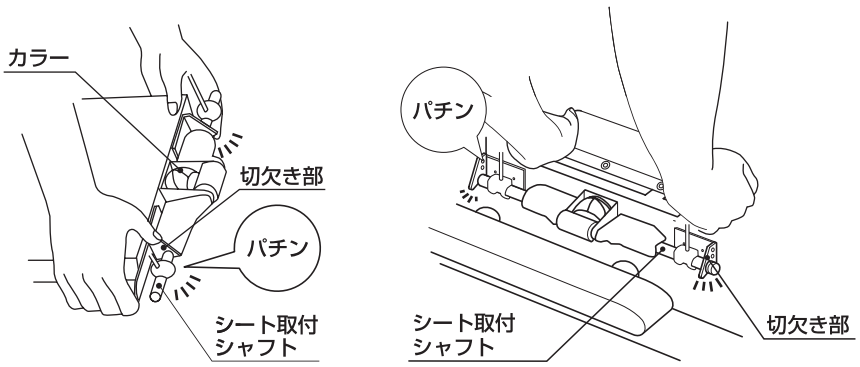
乗越え板の表面を上にし、乗越え押え板を裏側になるようにしてください。

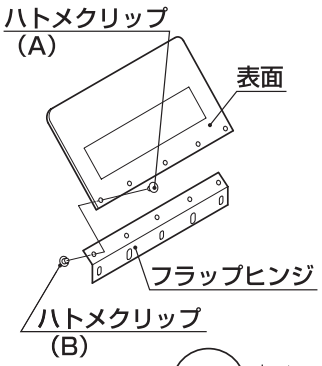
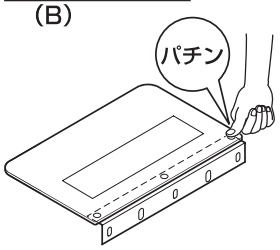
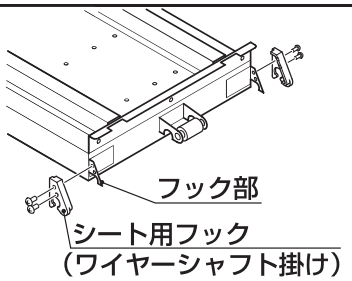
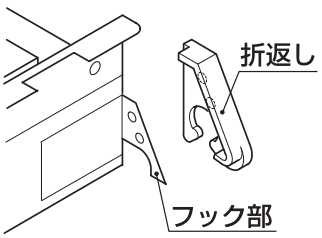
確実に止めるため、組み立て後、ハトメクリップ（A）を上から押し付けてください。指で押し付けても止めにくい場合は硬い板などを当てがってから強く押し付けてください。

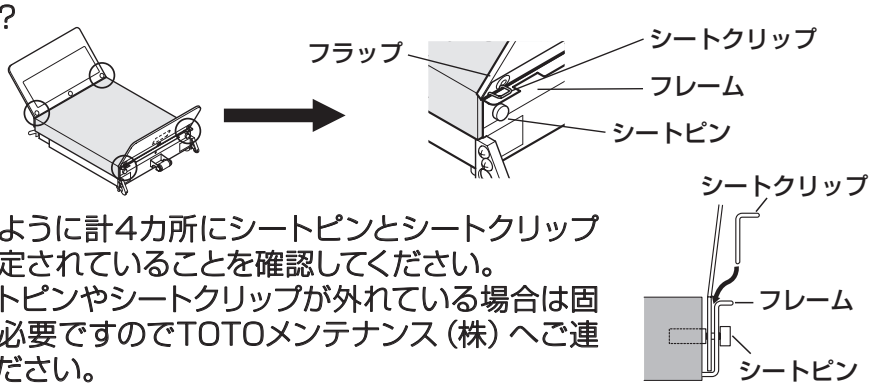


現象や症状	点検（確認）するところ
シートが下降途中で止まってしまう	浴槽にアームレストや手すりがついていませんか？ シートの横についているローラーがアームレストに当たってシートが下降できなくなります。アームレスト付きの浴槽には、別売りのアームレスト乗越キットが必要です。 
	浴槽の背もたれ面にシートが当たったり、浴槽底面のRに当たっていませんか？ 浴槽の背もたれ面にシートが当たると、シートが傾いて、4本のワイヤーに均等に荷重が加わらなくなります。バスリフトは、4本のワイヤーに荷重が均等にかかっていないと動きません。バスリフトの設置位置を前方にずらして、シートが浴槽の背もたれ面や浴槽底面のRに当たらないようにしてください。 
	シートの伸縮スライドはなめらかに動きますか？ シート内部に汚れなどが付着し、伸縮しなくなると、ワイヤーへ均等に荷重がかからなくなります。シートに付着した汚れを取り除き、シートがなめらかに伸縮するように清掃してください。それでもなめらかに伸縮しない場合は、シートを交換してください。

現象や症状	点検（確認）するところ
シートが下降途中で一度停止した時に、引き続き「下」ボタンを押しても下降しない	下降途中でワイヤーがたるんでいませんか？ 下降途中で停止した時にワイヤーがたるんだままだと、リモコンスイッチの「下」ボタンを押しても下降しません。 「上」ボタンを押してシートを少し上昇させワイヤーのたるみをなくしてから再び「下」ボタンを押して下降させてください。  **ポイント** 外から見てワイヤーがたるんでいなくても、製品内部でたるんでいる場合もあります。 また、上昇させる場合は必ずシートを取り付けて上昇させてください。

現象や症状	点検（確認）するところ
シートが傾いている	シートは正しくセットされていますか？ シートが正しくシート取付シャフトにセットされていないため、シートが傾いている可能性があります。 P.12～13の「使いかた」の「3　バスリフト本体にシートを取り付けます」を参照し、シートのローラーの間にシート取付シャフトの中央にあるカラーがくるように位置を合わせて、ワイヤーシャフト掛けが4カ所ともシート取付シャフトに固定されるように取り付けてください。 

シート脇のフラップが外れる	フラップに体重がかかったり、プーリーカバーに引っ掛かったりしていませんか？ フラップに過度な力が加わると、ハトメクリップが外れます。ハトメクリップABを注文の上、取り付けてください。（ハトメクリップは外れると、再使用できません。） また、使用中にフラップがプーリーカバー等に引っ掛からないように、ご使用者の座位を保つようにしてください。 フラップの表面を上にしフラップヒンジが下側になるようにしてください。（フラップヒンジは丸穴のほうを5カ所固定してください。） ハトメクリップは、1度外れたら固定力が低下し再利用できません。 外れた場合は交換してください。  確実に止めるため、組み立て後、ハトメクリップ（A）を上から押し付けてください。指で押し付けても止めにくい場合は硬い板などを当てがってから強く押し付けてください。 
シートが外れてしまう	ワイヤーシャフト掛けが破損していませんか？ 破損している場合は、ワイヤーシャフト掛けを交換してください。 ワイヤーシャフト掛けをフック部に合わせてください。 折り返しがフック側に向くようにし、プラスドライバーで専用ねじをしっかりと固定してください。  

現象や症状	点検（確認）するところ
シートクッションが外れてしまう	シートクッションの両端がシートピンとシートクリップで固定されていますか？  図のように計4カ所にシートピンとシートクリップで固定されていることを確認してください。 シートピンやシートクリップが外れている場合は固定が必要ですのでTOTOメンテナンス（株）へご連絡ください。
充電できない	充電は正しくおこなわれましたか？ P.9の「使いかた」の「1　電池を充電します」を参照し、再度充電をやりなおしてください。
充電してもすぐ電池が切れる	充電は正しくおこなわれましたか？ P.9の「使いかた」の「1　電池を充電します」を参照し、再度充電をやりなおしてください。
	バスリフト使用後は、電池を本体から外していますか？ 電池の自然放電が原因です。ご使用後は、必ず電池を本体から外し、湿り気をふき取り湿気のないところで保管してください。
	上記点検箇所に異常はない！！ 電池が完全に空になる前に充電する…といったことを何度も繰り返すと、電池の充電容量が低下し、正しく充電しても満充電にならない場合があります。 この場合、電池のリフレッシュを行います。 電池のリフレッシュについては、P.25を参照ください。 リフレッシュを行っても正しく充電できない場合は、電池の寿命が考えられますので、新しい電池に交換してください。
電池のリフレッシュをしても復帰しない	電池の寿命です。新しい電池に交換してください。
電池のリフレッシュができない	電池が空になっています。 ある程度電池容量がないとリフレッシュできませんので、充電後にリフレッシュしてください。

アフターサービス

【修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」（P.29）をご確認ください！】

保証書（この説明書のP.43が保証書になっています）

- この商品は保証書の内容にしたがって保証されています。据付け引渡日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

部品の交換について

無料修理により取り外された部品・製品は、TOTO（株）の所有となります。

保証について

- **保証期間中は**
  保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付けラベルなどの注意書きにしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  →「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」（本ページ）をご確認ください。

修理を依頼されるときは

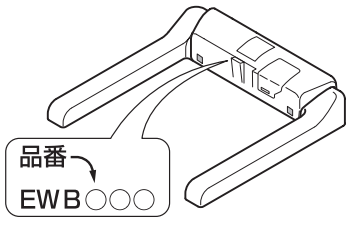
【修理依頼先】
お求めの取付店･販売店又はTOTOメンテナンス（株）（電話番号は裏表紙を参照してください）

【ご連絡いただきたい内容】
①住所、氏名、電話番号　②商品名　③品番　④購入日
⑤故障内容、異常の状況　⑥訪問希望日

【お客様の個人情報のお取り扱い】
お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】
「TOTOお客様相談室」又は「TOTOメンテナンス（株）」
（電話番号は裏表紙を参照してください）

品番は〇部分に貼っているラベルでご確認ください。



修理料金について〈TOTOメンテナンス（株）にご依頼の場合〉

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理をさせていただきます。

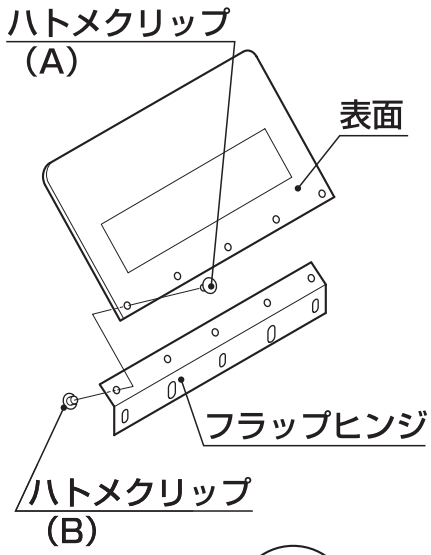
標準修理料金は 技術料 ＋ 部品代 ＋ 訪問料 で構成されています。

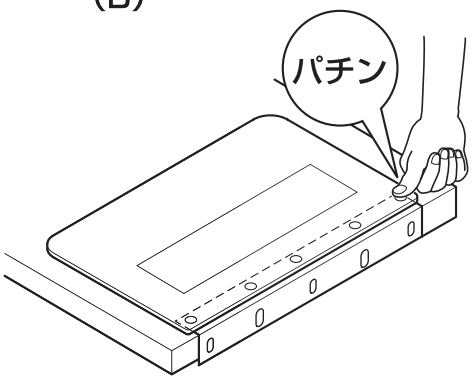
ただし、補修用部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます

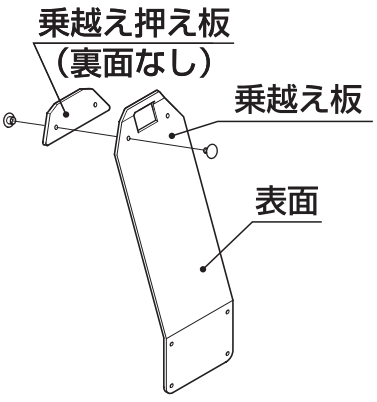
※機器類など専用の保証書があるものについては、料金体系が異なります。

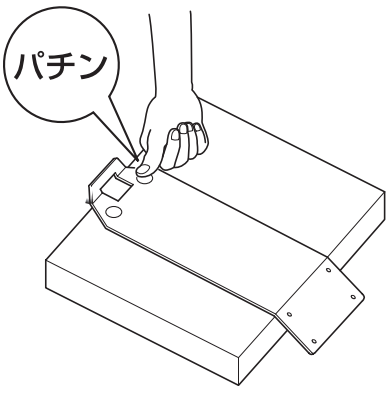
補修用性能部品が必要な修理内容

補修用性能部品	修理内容
フラップ用クリップの交換 補修用性能部品 ・ハトメクリップ （A・B） ・EW55002 ・￥430（税抜） ・3個入り	ハトメクリップは、１度外れたら固定力が低下し再利用できません。 外れた場合は交換してください。 フラップの表面を上にしフラップヒンジが下側になるようにしてください。 （フラップヒンジは、丸穴のほうを5カ所固定してください。） 確実に止めるため組立後、ハトメクリップ（A）を上から押し付けてください。指で押し付けても止めにくい場合は硬い板などを当てがってから強く押し付けてください。
アームレスト乗越えキット（別売品）のクリップの交換 補修用性能部品 ・ハトメクリップ （A・B） ・EW55002 ・￥430（税抜） ・3個入り	ハトメクリップは、１度外れたら固定力が低下し再利用できません。 外れた場合は交換してください。 乗越え板の表面を上にし、乗越え押え板が裏側になるようにしてください。 確実に止めるため組立後、ハトメクリップ（A）を上から押し付けてください。指で押し付けても止めにくい場合は硬い板などを当てがってから強く押し付けてください。









シート用フック（ワイヤーシャフト掛け）の交換

使用工具

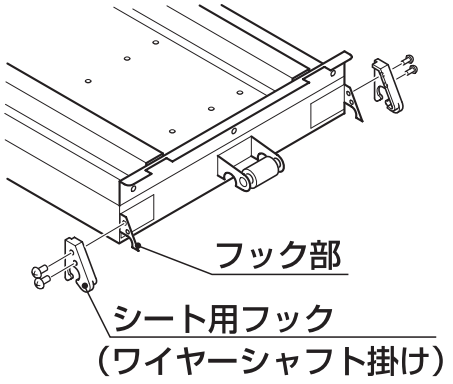
・プラスドライバー

補修用性能部品

・シートフックセット
・EW42041S
・￥380（税抜）
・シートフック
（左右各1ケ）
専用ねじ4本

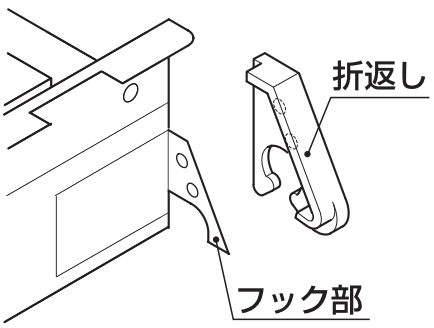
シート用フックが破損した場合は、新品と交換してください。

シート用フックをフック部に合わせてください。



シート用フックの折り返しが、フック側に向くようにしてください。

プラスドライバーで専用ねじをしっかりと固定してください。



補修用性能部品について

●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●交換頻度の目安は、使用環境により異なります。
●補修用性能部品を購入されるときは、TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンター（電話番号は裏表紙を参照してください）にお問い合わせください。

TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターでご購入の場合

■お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。
※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け予定日をご連絡いたします。

■お支払いについて

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。
送料につきましては、別途TOTOパーツセンターへお問い合わせください。

■返品・交換について

交換部品の不良などによる返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。
送料はTOTOパーツセンターが負担し商品を送付させていただきます。
お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担となりますのでご了承ください。お客様の元で、汚れたり破損した商品や、一度ご使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造中止後6年です。

他の電池のご使用について

バスリフトには、以下の日立工機株式会社製の電池を使用することもできます。
お求めの際は最寄りの日立電動工具販売店にてお買い求めください。

〈TOTO品番〉
電　池：EW79006

〈日立工機株式会社製〉
電　池：EB　12B

※2016年11月時点のものです。

電池リサイクルのお願い

ニカド電池
リサイクルマーク

バスリフトに使用している電池（ニカド電池）はリサイクルできる貴重な資源です。ご使用済みの電池は、送料着払いにて、下記までご送付ください。

※お送りいただく際は、金属類や他の電池をまぜないでください。

TOTOメンテナンス㈱TOTOパーツセンター
〒802-8601
福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1　TEL0120-8282-55

製品仕様

用　途		入浴用リフト
名　称		バスリフト
品　番		EWB100型／EWB103型
外形寸法		幅645～760mm×奥行575mm×高さ150mm
製品質量		EWB100型の場合　20kg（本体のみ：15kg、シート部：5.0kg） EWB103型の場合　20.5kg（本体のみ：15kg、シート部：5.5kg）
ご使用体重		35kg～100kg（100kg以上では上昇できません）
スイッチコード長さ		スパイラルコード300mm（最大長：840mm）
使用環境		0～60℃（凍結なし）、90%Rh以下
昇降方式		ワイヤーロープウィンチ方式
運 転 音		51dB（距離1m）
本体防水仕様		JIS3級　防雨形相当
電源	種　類	充電式ニカド電池　12V-2000mAh
	運転回数/1回充電	約10日間（1日1往復） 体重や電池の使用条件によって異なります。
	充電時間	約50分

TOTO

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日／ご購入日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店／販売店、または、TOTOメンテナンス（株）〒105-8306 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング（TEL 0120-1010-05　FAX 0120-1010-02）に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ　　様
	おところ 〒
取付店／販売店	〒 印 電話　　－
取付日／ご購入日	年　月　日

商品名	バスリフト
品番	EWB100型 EWB103型
保証期間	取付日/ご購入日から1カ年
保証用途	一般住宅用

★お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。
（1）上記用途以外で使用した場合の不具合。
（2）適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
（3）弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
（4）建築躯体の変形などに起因する商品の不具合。
（5）お取付後の移設などに起因する故障および損傷。
（6）塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
（7）金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
（8）ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
（9）火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
（10）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
（11）部品（電池・ワイヤーなど）の消耗劣化による不具合。
（12）日常のお手入れ箇所（カバークッション、シートクッション、アーム部の樹脂カバー、製品底部のゴムなど）の摩耗・劣化による不具合。
（13）砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
（14）水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
（15）凍結に起因する不具合。
（16）本書の提示がない場合。
（17）本書にお客様名、取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について
無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)にお問い合わせください。

・修理完了後にお渡しする修理伝票には修理内容を記載していますので、修理伝票は保管しておいてください。

TOTO株式会社
〒802-8601　福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室　TEL 0120-03-1010　FAX 0120-09-1010

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.29)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店　　〒

電話　　ー

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口

商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：9:00～17:00(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は

安心・信頼の
TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
ホームページ　http://www.tom-net.jp/
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受　　付：年中無休
受付時間：8:00～19:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9:00～18:00

交換部品・別売品のご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日 9:00～18:00　土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)
※インターネットでの部品購入はTOTO Webショップへ(24時間受付)
http://www.toto.jp/ec/html/index.htm

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社
TOTOホームページ　http://www.toto.co.jp/

2016.11
EWP01111SS